

住民主体の市政のために

市長・区長交流控帖

第1巻

— 平成17年度 市民総代会の記録 —



平成18年3月

掛 川 市

掛川市区長会連合会

目次

○市長・区長交流控帖 第1巻の発刊に寄せて（市長あいさつ）	1
○第1巻の市長・区長交流控帖の発刊によせて（区長会連合会長あいさつ）	2
○市民総代会中央集会	3
○市民総代会地区集会	5
地区別開催状況	7
地区別テーマ	8
地区別意見交換の記録	11～80
1 掛川第一・第二地区	11
2 掛川第三・第四地区	13
3 掛川第五地区	15
4 南郷・西南郷地区	19
5 上内田地区	24
6 西山口地区	27
7 東山口地区	30
8 日坂・東山地区	33
9 粟本地区	35
10 城北地区	39
11 倉真地区	43
12 西郷地区	46
13 原泉地区	48
14 原田地区	50
15 原谷地区	53
16 桜木地区	56
17 和田岡地区	58
18 曾我地区	61
19 千浜地区	64
20 睦浜・大坂地区	67
21 土方地区	70
22 佐束地区	72
23 中地区	75
24 大須賀北部・西部・中部・南部	77
25 大須賀東部地区	79

市長・区長交流控帖 第1巻の発刊に寄せて

新掛川市の市長・区長交流控帖 第1巻の発刊に寄せて、一言ごあいさつを申し上げます。

市民のみなさまには、日ごろから市政の推進に多大なるご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成17年4月1日、旧掛川市、旧大東町、旧大須賀町の1市2町が合併し、「海と山と街道がつながり、夢・未来をつくるまち」をキャッチフレーズに、新掛川市としての新たな歴史がスタートしました。

市民総代会は、旧掛川市では、過去に26回ほど開催されておりましたが、初めての開催となった旧大東町、旧大須賀町においても、多数の皆さんにご出席いただき、各地域が抱える課題などいろいろな要望や意見アイデアが出されました。

しかしながら、市の財政は、みなさんもお承知のとおり国の三位一体改革等により年々厳しい状況となってきております。全てのご意見を汲んで事業ができればいいのですが、なかなかそういう状況にはいきません。

そこで私は、「掛川市に住んだことに幸せを感じるまち」として発展させることを決意いたしております。願わくば、市民の誰もがそれぞれの立場で小さな幸せを感じていただけるまち、住んでよかったまちを目指して全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、関係各位のさらなるご支援、ご協力を賜りたいと存じます。

結びに、本集会の開催にあたりましては、区長様をはじめ、各地区の市民のみなさま、関係各位に感謝いたしますとともに、今後の市政にご指導とご鞭撻をお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

平成18年3月

掛川市長 戸塚進也

第 1 巻の市長・区長交流控帖の発刊によせて

市長・区長交流控帖の記念すべき第 1 巻の発刊に際しまして、一言ごあいさつを申し上げます。

日ごろから、区長会連合会事業に関しましては、多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本連合会は、旧 1 市 2 町それぞれの自治会の連合体が、合併にあわせ、いち早く 1 つの連合会組織として動き出すことができました。

現在では、198 の大小さまざまな自治区がそれぞれの個性を出し合いながら自治活動に鋭意努力し活躍しているところであります。

さて、市民総代会は、旧掛川市においては、過去に 26 回ほど開催しておりましたが、旧大東町、旧大須賀町の皆様には、初めての開催ということで少し戸惑いがあったことと思います。

この市民総代会は、市のプロジェクトなどを身近で聴き、行政と市民がお互いに情報を共有しあい、地域の課題や将来に向けた取り組みについて話し合う機会であります。

地区集会での意見等を記録にまとめた『市長・区長交流控帖』には、参加した住民と行政とのやり取りを「言いつぱなし、聞きっぱなし」にせず、今後のまちづくり推進に役立てるものであり、これにより住民参加型社会の形成がより一層高まっていくものでもあります。

特に、平成 18 年度から 4 年間は、中学 3 年の社会（公民）の教科書に、掛川市の「市民総代会」が掲載され、全国的にも脚光を浴びるものと期待をしております。

終わりに、この集会の開催にあたり、関係各位に感謝申し上げますとともに、今後の区長会連合会に対し皆様のご支援とご協力をお願い申し上げ、発刊に寄せるあいさつとさせていただきます。

平成 18 年 3 月

掛川市区長会連合会

会長 宮 下 久 雄

平成 17 年度 中央集会の概要

新掛川市として初めての開催となる市民総代会中央集会は、合併初年度ということもあり、議会や執行部の体制が整った平成 17 年 7 月 14 日に、掛川市生涯学習センターにおいて、市と市区長会連合会の共催により開催された。

中央集会の趣旨は、自治区をはじめ市内主要団体の役員等が一同に参集し、新市に関する市長ビジョンや、当該年度の主要施策、事業及び予算等について、市民と行政が情報を共有しあうとともに、質疑応答・意見交換を通じて、全市的な施策課題について意見・要望・アイデア等を出し合い、市政に関する広報・広聴の機会とするものである。

市議会議員、自治区役員、地域生涯学習センター長・事務長、公民館長、女性会議会議員・事務局員、社会福祉協議会、商工会、商工会議所、J A、青年会議所、老人クラブ連合会、市四役及び部課長など総勢 856 名が出席した。

中央集会では、最初に戸塚市長より、あいさつ及び新掛川市のビジョンや施政方針の説明に続き、区長会連合会の宮下会長よりあいさつがあった。

その後、特別招請者として、掛川警察署長、袋井土木事務所掛川支所長、掛川公共職業安定所長、静岡社会保険事務局掛川事務所長、掛川市内の 3 郵便局長、日本道路公団静岡建設局掛川工事事務所長（現：中日本高速道路株式会社横浜支社掛川工事事務所長）、中部電力（株）掛川営業所長、東海旅客鉄道（株）掛川駅長、いわゆる市内主要官公庁等の長より、当地域に係る近況などについて説明をいただいた。

また、平成 17 年度の掛川市の主要事業としては、市民の関心が高く話題性のある 3 項目（市立病院の上手なかかり方、南北幹線道路の推進、環境資源ギャラリー）に絞り、市立病院長、都市建設部長、環境生活部長から、それぞれの事業内容についての説明を行った。

全ての説明が終了した後に質疑応答や意見交換の時間をとり、会場からは、地域の発展やまちづくりに係る質問や意見が寄せられた。

平成17年度 市民総代会 中央集会 開催要領

1 趣 旨

自治区をはじめ市内主要団体の役員等が一同に参集し、新市に関する市長ビジョンや今年度の主要施策、事業及び予算等について、市民と行政が情報を共有する機会とする。また、質疑応答・意見交換を通じて、全市的な施策課題について意見・要望・アイデア等を募り、市政に関する広聴の機会とする。

2 参集範囲

市議会議員、自治区役員、地域生涯学習センター長・事務長、公民館長、女性会議会員・事務局員、市社会福祉協議会、市内の商工会議所・商工会、市内のJA、青年会議所、市老人クラブ連合会、市四役及び部課長 など

掛川警察署、袋井土木事務所掛川支所、掛川公共職業安定所、静岡社会保険事務局掛川事務所、管内の郵便局、日本道路公団静岡建設局掛川工事事務所（現：中日本高速道路株式会社横浜支社掛川工事事務所）、中部電力（株）掛川営業所、東海旅客鉄道（株）掛川駅など、いわゆる市内主要官公庁等の長

3 開催場所

掛川市生涯学習センター ホール

4 開催日時

平成17年7月14日(木) 午後7時から

5 主 催

掛川市、掛川市区長会連合会

6 内 容

- (1) 市長による、新掛川市のビジョン及び施設方針説明
- (2) 市内の主要官公庁等の代表（特別招請者）による、当地域に関する話題提供
- (3) 平成17年度掛川市主要事業（市立病院、南北幹線道路、環境資源ギャラリー）説明
- (4) 質疑応答・意見交換

平成 17 年度 地区集会の概要

地区集会は、各地域が抱える課題や市政全般の課題について意見交換し、その内容を重要度・緊急度に応じて翌年度以降の市の施策や予算編成に反映していくことや、地域の主要事業等についても話題提供を行い広く市民に周知する機会とすることを目的に開催した。

概ね小学校区を中心に市内 25 会場（掛川区域：18 会場、大東区域：5 会場、大須賀区域：2 会場）で開催したことから、初回 9 月 11 日の西山口地区では、残暑が厳しく汗ばむ気候であったが、回を重ねるにつれ、最終 11 月 19 日の大須賀北部・西部・中部・南部地区では、木枯らしが吹きつけられ、寒さを感じる気候となった。

まさに、3 ヶ月にも及ぶ長期間をかけた市内行脚であった。

開催の時間帯は、より多くの市民が参加できるよう、土曜・日曜などの休日や平日の夜間を中心に行い、総勢 1,940 人、1 地区平均 77.6 人の出席状況であった。

集会では、地元代表のあいさつに続き、市長からの施政方針やビジョン、開催地区に関する話題提供を行った。その後、意見交換として、最初に開催地区が抱える問題や課題点について討議を行い、続いて自由討議としてフリートーキングを行った。

会場の出席者からは意見や要望、アイデアなどが多数寄せられ、今後まちづくりを推進していくための強力な基となった。

最後にオブザーバーとして同席の県議会議員や市議会議員、福祉・経済団体の代表者から講評をいただき集会は閉会となった。

特に、この集会での意見や要望などは、きちんと記録に残すことにより、市民と行政の信頼関係を明らかにすることや、地域まちづくりに係る自主的学習力の向上、地域役員の地区課題に関する資料（事務引継ぎ書など）としても活用されていくものである。

平成17年度 市民総代会 地区集会 開催要領

1 主 旨

各地域の課題や市政全体の課題について意見交換し、その内容を重要度・緊急度に応じて翌年度以降の市の施策や予算編成に反映する。また、地域の主要事業等についての話題提供も行い、広く住民に周知する機会とする。

2 開催時期

平成17年9月11日（日） ～ 11月19日（土）

時間帯については、午前・午後・夜間の時間帯を設定

3 開催会場

市内小学校区を基本とした25会場

（掛川区域 18会場、大東区域 5会場、大須賀区域 2会場）

4 主 催

掛川市、掛川市区長会連合会

5 参集範囲

自治区役員（区長・副区長・地区長・会計・ブロック長・組長）、地域生涯学習センター長・事務長、公民館長、農業委員、地区推薦各種委員、自治区各種団体、公立保育園・幼稚園の園長、小学校・中学校長、一般市民 など

6 オブザーバー

県議会議員、市議会議員、市監査委員、商工会議所、商工会、JA など

7 内 容

- (1) 地元代表者あいさつ
- (2) 市長あいさつ及び施政方針説明
- (3) 意見交換（要望・意見・苦情・アイデアの聴取）
 - ①地区別テーマの部 地区が抱える問題や課題に関する討議
 - ②自由討議の部
- (4) オブザーバーによる講評

会場別回答結果類型集計表

No.	地区名	類 型					分類不能	計
		A	B	C	D	E		
1	掛川第一・掛川第二	3			3		1	7
2	掛川第三・掛川第四	5		1	1	2	1	10
3	掛川第五	9	4	1	3			17
4	南郷・西南郷				11	1	4	16
5	上内田	1			12			13
6	西山口	3	2	1	6		1	13
7	東山口	3	2		1			6
8	日坂・東山	1	1		2	1		5
9	栗本		1	1	9		1	12
10	城北	2			7	2	1	12
11	倉真	1	1	1	6	3	2	14
12	西郷	1		3	1	1	3	9
13	原泉	1	1	1	6		1	10
14	原田	5	2		3	2	1	13
15	原谷	1	3		9		1	14
16	桜木	2	3		2	2	5	14
17	和田岡	3	3		2	3	5	16
18	曾我	2		1	5	3		11
19	千浜	2		1	4	1	4	12
20	睦浜・大坂			1	8		3	12
21	土方			1	4	1	2	8
22	佐束	2	3	1	5		3	14
23	中	2			5		2	9
24	大須賀北部・西部・中部・南部	2	2		5			9
25	大須賀東部	2	1	1	1	1	1	7
合 計		53	29	15	121	23	42	283
割 合 (%)		18.7	10.3	5.3	42.8	8.1	14.8	100.0

平成17年度 市民総代会地区集会 地区別開催状況

No.	地区名	月日	曜日	時間	会場	出席者数	9月末現在の人口	9月末現在の人口に対する出席率(%)
1	掛川第一・掛川第二	11月7日	月	夜間	第一小学校多目的教室	74	5,002	1.48
2	掛川第三・掛川第四	11月8日	火	夜間	中央小地域生涯学習センター	69	5,457	1.26
3	掛川第五	9月17日	土	夜間	第五地域生涯学習センター	70	6,723	1.04
4	南郷・西南郷	11月13日	日	午後	西南郷地域生涯学習センター	103	9,643	1.07
5	上内田	11月10日	木	夜間	上内田地域生涯学習センター	75	2,480	3.02
6	西山口	9月11日	日	午後	西山口地域生涯学習センター	86	7,085	1.21
7	東山口	10月18日	火	夜間	東山口地域生涯学習センター	42	3,003	1.40
8	日坂・東山	10月20日	木	夜間	東山地域生涯学習センター	62	1,817	3.41
9	栗本	9月25日	日	夜間	栗本地域生涯学習センター	80	5,975	1.34
10	城北	10月21日	金	夜間	中宿公民館	62	3,794	1.63
11	倉真	11月13日	日	夜間	倉真地域生涯学習センター	81	1,830	4.43
12	西郷	9月26日	月	夜間	西郷地域生涯学習センター	56	5,073	1.10
13	原泉	10月1日	土	夜間	原泉地域生涯学習センター	65	636	10.22
14	原田	11月15日	火	午後	原田地域生涯学習センター	50	1,901	2.63
15	原谷	10月15日	土	夜間	原谷地域生涯学習センター	102	4,158	2.45
16	桜木	10月28日	金	夜間	桜木小学校多目的ホール	93	10,743	0.87
17	和田岡	10月25日	火	夜間	和田岡地域生涯学習センター	59	3,322	1.78
18	曾我	9月27日	火	夜間	曾我地域生涯学習センター	94	3,074	3.06
19	千浜	11月9日	水	夜間	千浜農村環境改善センター	72	4,244	1.70
20	睦浜・大坂	11月12日	土	夜間	大東支所	87	7,828	1.11
21	土方	9月24日	土	夜間※	大東北公民館	102	3,463	2.95
22	佐東	10月23日	日	午前	佐東小学校体育館	92	3,186	2.89
23	中	10月23日	日	夜	中地区コミュニティ防災センター	106	2,228	4.76
24	大須賀北部・西部・中部・南部	11月19日	土	夜	大須賀中央公民館	107	8,553	1.25
25	大須賀東部	11月18日	金	夜	大淵農村環境改善センター(アイク)	51	3,711	1.37

【開催の時間帯】

午前 9:30 ~ 11:30

午後 13:30 ~ 15:30

夜間 19:00 ~ 21:00

※19:30~21:30

合計	1,940	114,929	1.69
平均	77.60	4,597.16	1.69

平成17年度 市民総代会地区集会 地区別テーマ

No.	地 区 名	テ ー マ
1	掛川第一・掛川第二	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保一元化の効果と進捗状況 ・中心市街地の活性化 ・大河ドラマ放映に係る駅北口駅舎等の整備
2	掛川第三・掛川第四	<ul style="list-style-type: none"> ・アパート入居者に関わる問題
3	掛川第五	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備について（県道原里大池線、市道宮脇秋葉線、市道長谷桜木線）
4	南郷・西南郷	<ul style="list-style-type: none"> ・南北幹線道路整備に伴う西南郷地区の受け入れについて ・南郷地区学習センターの建設について
5	上内田	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化抑制のための地域子育て支援施設の設置
6	西山口	<ul style="list-style-type: none"> ・掛川東環状線の早期完成について
7	東山口	<ul style="list-style-type: none"> ・県道菊川停車場伊達方線の交通緩和と安全確保のために ～伊達方隧道の改良（拡幅・開削）～
8	日坂・東山	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立地（残土）と道路との関係 ・畑総17号支線農道の打ち切りと今後の対応
9	粟本	<ul style="list-style-type: none"> ・粟本地区の道路整備について （市道杉谷初馬線、水垂1号線、葛ヶ丘地内、城北小学校の通学路）
10	城北	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生涯学習センターの移転問題について ・浸水対策について
11	倉真	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化対策
12	西郷	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育について
13	原泉	<ul style="list-style-type: none"> ・原泉地区のまちづくりについて
14	原田	<ul style="list-style-type: none"> ・山間地の福祉問題
15	原谷	<ul style="list-style-type: none"> ・原谷地域づくりと道路について
16	桜木	<ul style="list-style-type: none"> ・市道杉谷家代線のうち、下垂木3区から白泉寺橋間の開通及び静銀掛川西支店前変則交差点の改善
17	和田岡	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育の実施について
18	曾我	<ul style="list-style-type: none"> ・住居表示、字地番の整理（行政区との統一化）
19	千浜	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化対策について ・海岸の保全について
20	睦浜・大坂	<ul style="list-style-type: none"> ・一級河川、二級河川堤防及び幹線道路の草刈について
21	土方	<ul style="list-style-type: none"> ・下小笠川の改修について ・西幹線道路取り付けと工業団地道路について
22	佐東	<ul style="list-style-type: none"> ・南北幹線道路の整備について ・下水道の整備について
23	中	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備の方向性について ・南北幹線道路について
24	大須賀北部・西部・南部・中部	<ul style="list-style-type: none"> ・南北幹線道路の整備について
25	大須賀東部	<ul style="list-style-type: none"> ・南北幹線道路の整備について

本書に記載された地区集会における地区別意見交換・質疑応答の取り扱い方

1 ねらい・目的・効果

(1) 市民の意見、要望、苦情、アイデアの収集と対応の進行管理

市民からの意見については、言いつ放し・聴き放しにしないよう、やりとりの内容を明確に表わし、進行管理の資料とするとともに、住民と行政の信頼関係を増進させます。

(2) 市政の推進

各地域課題に関する市の方針について記録され、広報・広聴、情報公開の記録集とされています。

(3) 地域コミュニティの推進

市民の自主的学習意欲の向上、地域内発力・調整力の開発及びコミュニティづくりの推進を図ります。

(4) 地域における事務の引継ぎの資料

区の課題事項に関する地元と市のやりとりが記録に残ることにより、後代の地域役員の地区課題に関する資料、事務引き継ぎ書として活用することができます。

(5) 事業の効率化、計画的な地域づくり

様々な地域課題が網羅される中で、優先順位付けが考慮され、計画的な地域整備や地域づくりにつながります。

(6) 担当部署の明記

事業を行う部署を明確に表わすことにより、市民からの問い合わせが円滑に行なうことができます。

2 意見等に係る事業の実現性の確認

各地区からの要望や意見については、A～Eの5類型に分類し事業の実現性等について明確に表示をしました。

A すぐやります。 すぐ徹底します。 すぐ解決します。 対応済です。 現在対応しています。

B 翌年度予算、翌年度事業で実施します。 翌年度から改善・制度化します。

C 次の実施計画に載せます。 次の実施計画で調査費を計上します。 国・県に要望し事業採択を受けたら実施します。 広域的に処理します。

D 今後十分調査・検討します。 お互いよく検討しましょう。 今後の施策立案の参考にさせていただきます。

E できません。 不可能です。 自前でやってください。 まず地元で利害調整・意思決定をしてください。

－ 分類不能

掛川第一・掛川第二地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎幼保一元化の効果 東保育園閉園理由にもあった、教育効果は現在どのように表れているか。</p>	<p>幼保園では年齢の違いを超えて、また幼稚園児・保育園児の区別なく合同で活動することによる遊びの広がりがありますし、0歳から5歳児と一緒に生活することにより、優しさや思いやりが育っていく教育効果があります。また同年齢クラスが複数あることでクラスの団結が高まります。 【幼児教育課】</p>	—
<p>◎旧東保育園のアスベスト問題 東保育園に通園していた職員や園児へのアスベストによる健康影響の追跡調査は実施したのか。</p>	<p>旧東保育園のアスベストは屋根裏で囲い込みであったため飛散の恐れはありませんでした。このため追跡調査は実施いたしません。 【環境保全課・幼児教育課】</p>	A
<p>◎中心市街地の活性化について 昨年度、東街区の活性化について1億5千万円を返上して、白紙に戻った。その後、前市長は「平成17年度調査費で1千万円計上する」という約束をされたが、その後どうなっているのか。中心市街地の活性化の方策と併せて伺いたい。</p>	<p>駅前再開発については、平成15年度に都市計画決定し、平成16年度に事業計画の策定と本組合をつくる予定でした。しかし、地価下落などにより当初計画を経済的に遂行できなくなり、権利者組織と街づくり会社は事業計画の見直しを決定、これを受け、市は平成16年9月議会で事業計画の見直しを決断しました。そして、平成16年度は、見直しを進めるために、500万円の予算で構想案を作成しました。また、再開発法の改正により、デベロッパーなどが資本金の2分の1出資の再開発会社施行もできるようになりました。平成17年度は1千万円の予算で事業計画の策定作業を進めています。予定としては、18年度に事業計画、19年度に実施計画、20年度着手の予定でおりますが、社会経済の状況など不透明な事柄も多く、今後、再開発準備組合やまちづくり会社とよく相談して推進していきたいと考えています。決して途中で中断したわけではありませんので、ご協力をお願いします。 【区画整理課】</p>	A
<p>◎掛川駅北口駅舎について ①駅北口駅舎は昭和15年に建築された木造建築物であり、東海地震による倒壊を心配している。これに対して、市はどのような考えをもっているのか。</p>	<p>J R 東海(株)では、木造駅舎は将来的には、他の建造物に変えていきたいとの考えですが、現在の駅舎を生かしながら耐震補強をしていただくよう J R 側に働きかけていきたいと考えています。 【都市計画課】</p>	D

掛川第一・掛川第二地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>②木造の駅舎は、県内はもとより東海道線沿線にもほとんどない。あの駅舎をレトロ調にリフォームして大河ドラマ「功名が辻」に似合うようなものにしてはどうか。</p>	<p>J R東海では「非常に良い駅」との評価があります。今のところ、J R東海はあの駅舎は変えがたいものであるということで大事に保存しています。市で修繕等をすることもできないため、このような要望があったことをJ Rにも伝えていきたいと思います。 【市長】</p>	D
<p>③鉄道の乗客は、東海地震が発生した場合、木造の駅舎を通して避難させるのか。</p>	<p>乗客のみなさんの安全は、まず第一にJ Rに考えていただかないといけないものでありますので、この意見をJ Rに伝えていきます。今後の防災訓練等で、J Rと市とが連携してできることがあれば実施していきたいです。 【交通防災課】</p>	D
<p>◎市の財政事情の公開について 市には、約1,000億円の借金があるようである。返済ビジョンについて、第3セクターの収支も含め、つまびらかにしていただきたい。</p>	<p>毎年1回広報紙を通じて予算や決算を公開していく予定です。平成17年度は11月1日号の広報かけがわに掲載しました。 返済ビジョンは、新規事業抑制が第一と考えております。 また、計画事業においても、実質的な節減に努力し、なるべく整理していきたいと考えます。 第3セクターは、これっしか処・こだわりっぱ・ならここの里は黒字、大東マリーナが赤字となっています。赤字の施設については今後対応を検討していきます。 小笠山麓株式会社は東名インターを開設する資本金を出資した会社です。これは事業を興し儲けてからN T Tの借金を返済していかなければならないものですから、当時10万円の株が現在約5万円の価値であります。しかしながら、8年間で借金は返済できます。 なお、保有資産を民間に払い下げできるものは進めていきたいと考えております。 【総務課】</p>	A

掛川第三・掛川第四地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎アパート対策について</p> <p>市役所にアパート対策窓口はあるのか。区役員がごみ対策などで困っている。建築申請許可の段階で、関係する区に情報を流すなど、建築主や大家と区が十分話し合いができるような体制づくりを市としても整備していただきたい。</p>	<p>住民登録等しない短期滞在型住民も増え、市としても実態の把握や対策に苦慮しているのが実情です。</p> <p>区長さんの困り事も含めて検討する組織として、アパート施策推進室を地域振興課内に設置しました。</p> <p>【地域振興課】</p>	A
<p>◎市職員のあいさつ励行</p> <p>受付の方は、あいさつをしてくれるが、中にはあいさつをしない職員がいるため、徹底してほしい。</p>	<p>「あいさつが増えた」という声もいただいておりますが、不十分な点も承知していますので、明るくあいさつするよう指導していきます。</p> <p>【総務課】</p>	A
<p>◎ごみの分別について</p> <p>当区ではごみの分別徹底のため全戸当番制もしている。9月の分別方法の変更の際し、行政からの徹底が不十分だったため、混乱が起きたのが現実である。各地区の分別の実態を把握しているのか。</p>	<p>対応に不十分な点があり申し訳ありません。地区役員並びにクリーン推進員の皆様には、ごみ分別及び集積所の管理につきまして並々ならぬご尽力をいただき厚くお礼申し上げます。新ごみ分別変更後5ヶ月が経過した現在、燃えないごみが以前の1/3以下に減少しておりますが、未だに誤った分別で出されているものもあります。1月より未分別の袋は集積所に置いてきておりますので、地区役員・クリーン推進員の皆様方には、今まで以上のご苦勞をお掛けし誠に申し訳ございません。全体の未分別が2割以下になるまではこの方法を継続させていただきたいと考えております。当課では、分別徹底を図るため、地区説明会の開催や啓発チラシの作成などできる限りの啓発指導を実施しています。また、徹底が不十分な地区を重点的に啓発を行うことも考えておりますので、何卒ご協力をお願いいたします。</p> <p>【環境保全課】</p>	A
<p>◎地区要望制度について</p> <p>城西区の側溝修理要望に対し、雨水対策要望を下水道事業と合わせて行うということから5、6年先に放り投げられるような回答内容であった。要望の採択基準等はどうなっているのか。</p>	<p>要望箇所の現地確認をし、緊急性・公共性・他の事業計画との整合性などを勘案し、事業採択をさせていただいております。</p> <p>【地域振興課】</p> <p>城西地区の浸水対策については、年次計画を立て進めていきます。</p> <p>【道路河川課】</p>	C

掛川第三・掛川第四地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎道路照明について</p> <p>市道下俣二瀬川線の照明は、坂本整形外科より北は街路灯であり、南は区で要望した防犯灯が設置されているが、同じ道路で区別されているのはなぜか。</p>	<p>道路の照明には3種類あり、交差点のように交通安全上から道路を照らすのが道路照明灯、防犯のために区で設置していただいているのが防犯灯、商店街を明るく照らしているのは街路灯で、これは商店街のみなさんが県の補助などを利用して設置していただいています。</p> <p>【交通防災課・都市計画課】</p>	—
<p>◎都市下水路の整備</p> <p>NECからずっと北の方が、上流は川幅が狭いため流れがあるが、暗渠になっている所は流れが止まるため、晩になるとコウモリがいたり、蚊が発生したりする。流れが止まらないよう改修していただけないか。</p>	<p>暗渠部分の改修については河川断面を侵すこととなりますので現状では困難です。</p> <p>流水の水質が改善するよう公共下水道への接続をお願いします。</p> <p>【道路河川課】</p>	E
<p>◎市街地循環バスについて</p> <p>ポケットサイズの時刻表を作成していただけないか。</p>	<p>皆様にご利用いただくため、現在はA3版で全線の時刻表をバス内にて配布しています。ミニサイズとなると時刻が見にくくなるため作成しておりません。ご理解願います。</p> <p>【都市計画課】</p>	D
<p>◎歩道の整備</p> <p>十九首から小鷹町に入った途端歩道が狭く段差が生じる。車椅子等で通ることができないため改善願いたい。</p>	<p>ご指摘の歩道段差のある箇所については、歩道修繕工事で対応いたしました。</p> <p>【都市計画課】</p>	A
<p>◎医療費負担の軽減</p> <p>市の少子高齢化対策として、中学生まで医療費負担を軽減することはできないか。</p>	<p>乳幼児医療の改善には取り組んでいますが、財政状況は厳しく中学生までは難しいと考えます。現制度を少しずつ充実していきたいと思えます。</p> <p>【保健予防課】</p>	E
<p>◎水道工事による舗装復旧</p> <p>城西地内で本年度水道配管の交換をした。城西1丁目まで敷設完了後きれいに舗装されているが、2丁目からはツギハギ状態である。片方はきれいで片方は中途半端の理由は。</p>	<p>舗装は工事説明会でもお知らせしましたが、城西1丁目では道路が盛り上がり苦情があったので、今回は占用工事での通常工法で行いました。時間が経てば舗装面が灰色になり目に付きにくくなりなじみます。舗装の耐久性は同じですのでご理解ください。</p> <p>【水道工務課】</p>	A

掛川第五地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎第五地区内の道路整備について</p> <p>①市道長谷桜木線 市役所西側の新長谷橋から県道掛川袋井線までは開通しているが、天浜線を交差し、さわやか付近までが未整備である。その区間の道路を県道にして県管理とし、第二小学校前の県道を市が引き受けて整備したらどうか。</p> <p>②市道宮脇秋葉線 災害時における代替道路として重要な機能を持つと思う。七日町や秋葉通り、鳥居町の地域の方と協力しながら、県道原里大池線前側橋南側からオカノ付近に至る間の具体的な市の方針は。</p> <p>③県道原里大池線 近年通行車両が年々増加している。八幡宮から池辺神社にかけての道路整備の完成予定と見通し、前側橋の新設予定時期、記念橋から国道1号までの区間の拡幅工事の完成時期はいつか。また、国道1号との交差点に右折レーンの設置をお願いしたい。</p>	<p>大池交差点から県道掛川袋井線交差点まで残り442mですが、天浜線があり、高架の場合概算で40億円かかります。県道を路線変更し、県事業で整備するという手法は、地元県議とも相談しながら県にお願いをした経過があります。今後も引き続き陳情していきます。 【都市計画課・道路河川課】</p> <p>本路線の延長4.4kmのうち、東西端990mの未整備区間がありますが、当地内は今年度測量を行います。防災道路や国道の渋滞回避という観点から、本路線の計画が地元関係者の皆様に承認されれば都市計画の変更を行い、補助事業として採択されるよう県に働きかけてまいります。 【都市計画課】</p> <p>さんりーなから秋葉路入口の交差点までは国による大池の10万トン浚渫事業と合わせ、県の事業として6億1千万円かけて19年度の完了を見込んでいます。国道から記念橋までの210mは北側90mを第一工区として16年度から実施。南側は第二工区として18年度認可を受け、19年度から着手する予定です。その中で、国道の右折レーン部分についても考えてまいります。 【農地整備課・都市計画課・道路河川課・区画整理課】</p>	<p>D</p> <p>C</p> <p>B</p>
<p>◎つくし保育園の跡利用について 閉園後に、第五地区として利用したい考えがある。 できたら、児童広場として利用させていただきたい。将来児童公園としての前身になればありがたい。</p>	<p>つくし保育園は、西部幼保園の開園に伴い平成18年3月末で閉園となりますが、施設整備の関係上8月頃までは今の場所で運営されます。 地元の意向にはできるだけ沿いたいと思いますが、既存の建物を使い、子育て支援やお年寄りの集う場所としてクラブなどに活用している地区もありますので、地元でもよく議論していただきたいと思います。 【幼児教育課】</p>	<p>D</p>

掛川第五地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
◎大池公園の整備について		
①アスレチック大型木造遊具1箇所の撤去及び使用禁止になっている箇所の整備の方向性（修復、新設、撤去）は。	昭和57年度に建設した木製遊具のため老朽化が著しく、毎年補修工事を実施していますが、追いつかない状況です。平成17・18年度の2年間で解体し、今後は大池公園としての整備管理を都市計画課と調整しています。 【スポーツ課】	B
②コース内通行止めのロープ（ビニル紐）が張ってあるが、この先危険を知らせる告知看板を設置してほしい。	危険箇所を確認し2か所設置しました。 【スポーツ課】	A
③コース途中の分かれ道に道しるべを設置してほしい。	コースの「ゆき」「かえり」の決めは無いので、危険箇所告知板設置で対応しました。 【スポーツ課】	A
④森の中の自然木に樹木札を設置してほしい。	こどもの森内に18種類、36枚の札を設置しました。 【スポーツ課】	A
⑤芝そり広場、芝生広場、散策コース区域の草刈等の管理を、年間を通じて行うことはできないか。	草刈りを含んだこどもの森全体の管理はNPO法人掛川市体育協会が実施し、芝刈り及び樹木の伐採は業者が年間を通して行っています。 【都市計画課・スポーツ課】	A
⑥さんりーな裏の東屋から山に登る散策道に倒木があるため撤去願いたい。また、枯れ木などを定期的に片付けていただきたい。	倒木については撤去しました。 なお、枯れ木などの撤去は、年間の緑化管理委託の中で実施しておりますのでご理解をお願いします。 【都市計画課】	A
⑦市内の幼稚園や小学校の遠足等到大池公園を利用する率が少ない。利用率が低い原因は何か。	こどもの森は使用許可をとり使用する施設ではないため、確実な利用者数は把握できませんが、隣接に総合体育館「さんりーな」が平成15年10月にオープンし、こどもの森との連結歩道も整備したため、総合体育館利用者の相乗効果により利用者は増えていると考えます。今後は、市内の幼稚園や小学校へのPR活動も実施してまいります。 【都市計画課・スポーツ課】	A

掛川第五地区

要 望 事 項 等	回 答	類 型
<p>⑧多目的広場が第二駐車場に変更となったが、これは一時的な措置か。一時利用なら1日も早く多目的広場への原状復帰をしてほしい。</p> <p>⑨大池調整地（国営事業）は、平成18年度で大方の工事が終了する予定であると聞いているが、環境・景観・安全対策などの重要な問題が地元と協議されていない。早急に市関係者と国の担当者と協議して公園にふさわしい施工をお願いしたい。また、工事の用途を教えてください。</p>	<p>多目的広場は、グランドゴルフ等運動利用のほか、総合体育館の臨時駐車場としても多面的に利用しています。現在、臨時駐車場利用日は、東側(狭い方)が火曜日以外のすべての曜日、西側(広い方)が土・日曜日となっています。運動利用の方にとっては、利用日が縮小しましたが、多くの市民利用の総合体育館には不可欠な駐車場ですので、現状の痛み分けを御理解願います。当面は、現状のような多目的利用を継続していく方針です。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p> <p>国営事業の工事は18年度完成を目標に現在工事を進めています。</p> <p>大池調整池は、農業用の溜池でありますから、安全対策のため池の観点からの施工が主眼となります。池の周りを周遊できるような遊歩道を造り安全柵仮舗装などは要望していますが、図面を見ながら国と協議をしていきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【農地整備課】</p>	<p>A</p> <p>D</p>
<p>◎男女共同参画時代の対応について</p> <p>新市における取り組み方法、特に中高年齢層の男性への浸透、或いは企業等との取り組みは。</p>	<p>旧掛川市と旧大須賀町に男女共同参画条例がありましたが、新市になり失効しています。17年度中に策定し、18年度には基本計画を立てて推進していきます。企業における取り組みについては、研修会等に講師を派遣したり、情報紙等を通じて協力依頼や呼びかけをして参ります。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p>	<p>B</p>

掛川第五地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎第二小学校通学路の整備</p> <p>①市道殊勝寺線3箇所、県道袋井掛川線大池橋交差点と市道山麓橋大池線交差点入り口への「通学路につき要注意」の看板設置について。</p>	<p>通学路の安全施策の問題につきましては、ここ数年来各地区において改善要望等が出てきております。</p> <p>そこで、市内の通学路における問題点を各学校から指摘していただき、その上で官民が協働して、通学路としての道路構造、交通状況、周辺環境等の現状を共通認識するとともに、より安全な通学路を早急に、また着実に確保するためのプロジェクトが必要であると考えます。</p> <p>平成17年度におきまして、地域の代表・PTA・警察・道路管理者・学校の協力を得て、「通学路安全対策事業懇談会」を開催し、仮称「通学路交通安全対策プロジェクト」を実施するよう準備を進めているところです。</p> <p>安全看板の設置については、今後プロジェクトの中で安全施策の検討課題とさせていただきますので、ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">【学校総務課】</p>	B
<p>②市道殊勝寺線と農道交差点への停止線引き直しと「止まれ表示」、横断歩道設置2箇所、バイパス側道入り口道路路面への制限速度「30」表示等2点並びに県道袋井掛川線市道山麓橋大池線交差点の信号機時間調整、横断歩道白線上書き等、小学校正門入り口の横断歩道設置等。</p>	<p>横断歩道の設置、信号機の調整、「止まれ」表示・速度表示等交通規制に関するものは、基本的に静岡県公安委員会（静岡県警交通規制課）の管轄となります。ご要望の点につきましては、9月22日に地元区・学校・警察及び市（市長・総務部・都市建設部・生涯教育部）にて現地を確認しました。掛川警察署では、現地確認の後、要望項目について検討を加え、県公安委員会へ順次申請していただいています。</p> <p style="text-align: right;">【交通防災課】</p>	A
<p>③市道殊勝寺線路側帯の白線の引き直しをしていただきたい。</p>	<p>今年度実施しました。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	A

南郷・西南郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎南北幹線道路の整備</p> <p>①青田トンネルの施工方法は。</p> <p>②上張地下道と遠江地下道を跨線橋にするのか、あるいは、現カルバートを拡幅するのか。</p> <p>③農道掛川高瀬線の高低差の解消を。</p>	<p>青田トンネルは、長さ85m・幅8.5mで、歩道も狭いため、県には拡幅の要望を継続的に行っているところで、その施工方法や時期に関しては決まっていません。また、南北幹線道路のルートとトンネルの関係については、現在そのルートや構造について検討を進めているところで決定に至っていません。検討のまとめを早急に進め報告します。 【道路河川課】</p> <p>上張ガードは右折レーン設置だけで3年かかりました。またボックスだけ抜いてもその前後をどうするかということを考えると、非常に難度の高い大事業となります。代替案として、東名ICから東へ向かい千羽への道(東環状線)を早く着工して車を逃がすという案も考えられます。今年県でOD(交通量)調査を行い、18年には結果が出ますので、こうした結果も踏まえながら、今後の宿題にさせていただきたいと思います。 【道路河川課】</p> <p>高瀬線が20年3月に開通すればかなりの効果が見込まれますが、県の農道事業として整備していますので、高低差など若干の不都合はあります。まずは完成を待ち、出来た時点で問題解消を考えていきたいと思います。 【農地整備課】</p>	<p>D</p> <p>D</p> <p>D</p>
<p>◎静岡空港開港に伴う駅南口の整備</p> <p>空港の開港に合わせ、リムジンバス発着等を含めた南口整備の方向性は。</p>	<p>静岡空港への乗客の送迎等については、現在具体的な検討はしておりませんが、公共交通としては掛川駅からのリムジンバスの発着等が検討されるものと思います。今後、県と協議を進める中で、掛川市としても実現可能となるよう積極的に協力して行きたいと考えております。 【都市計画課】</p>	<p>D</p>

南郷・西南郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎上張水路（絶火川）の整備</p> <p>区を中心を、絶火(ぜっか)川が通り、かつての「七夕豪雨」の際床下浸水もあった。近年、付近の開発などでこの小さな川に水が集中しているため浸水がないか不安。上流の水すべてを、この川で受け止めることは無理と思われるため、バイパス水路の整備や、東海道線下の狭い水路を改良するなどの整備をしてほしい。</p>	<p>昔の区画整理事業には、調整池がないのも一因と考えられます。平成3年後以降は基準が出来ています。実情を調査し検討していきます。 【道路河川課】</p>	D
<p>◎南郷地域学習センターの整備</p> <p>南郷地域学習センターは、地区集会や敬老会などの催しができないほど手狭である。旧河井邸が市へ寄贈されているため、この用地の活用方法と併せて検討願いたい。</p>	<p>新しいセンターの建設は財源的な問題もあり、おいそれといきませんが、南部幼保園開設に伴い南郷保育園が建物をとって市に返還してくれるのではという話もありますので、地元の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。</p> <p>また、地元においても建設検討委員会等の組織を立ち上げていただき、建設候補地、建設規模等を協議していただきたいと思えます。</p> <p>なお、旧河井邸については、老朽化した建物の保存や解体も含め、活用方策を今後検討していきたいと思えます。 【管財課・教育文化課】</p>	D
<p>◎板沢老人福祉センターの管理体制</p> <p>南郷地区は、敬老会を板沢老人福祉センターで実施しているが、18年度から管理体制が変わり、土・日休館と聞いている。土・日休館となると敬老会等の開催に影響が生じるため条例の検討をお願いしたい。</p>	<p>老人福祉センターの施設は、満水地区に平成19年4月以降に移転の見込みです。老朽化しており、移転後は取り壊しも視野に入れなければいけません。</p> <p>センターの休館日については、市条例施行規則により、土・日、国民の祝日及び年末・年始（12月28日～1月4日）となっていますので、基本的にはこの規定に沿ったかたちで敬老会の企画をお願いしたいのですが、特別の事情がある場合は高齢者支援課にご相談ください。 【高齢者支援課】</p>	D

南郷・西南郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎敬老会の開催方法</p> <p>①市長へ案内状を出したが、出欠の回答がなかった。地区からの案内による対応はどうされているのか。</p> <p>②本来市の事業と思われるが、市では100%地区へ丸投げである。職員の派遣など対応を検討されたい。</p>	<p>敬老会は市内99か所で行われました。案内をいただいたところには市長が伺い、それ以外の所は助役をはじめ職員が手分けで、出来る限り伺いました。全か所を回れないと思いますので、案内状をいただいたのに行けない場合、出欠席の連絡をしていきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">【秘書広報課・高齢者支援課】</p> <p>旧掛川市では、委託方式として長年区長会へお願いし、委託方式が定着化しております。地域のお年寄りには地域でお祝いすることが、より真心がこもった会になると思いますので、引き続きよろしく申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">【高齢者支援課】</p>	<p>D</p> <p>E</p>
<p>◎神代地川の改修</p> <p>神代地川は例年氾濫し、付近の民家で床上・床下浸水が数戸出る。要因は、護岸のうち25mほどが旧態依然のマキ囲い護岸である。特に近年はエコパ道路の完成により急激に水嵩が増し岩石も堆積する。駅南は掛川の玄関口でもあるため早急な対策をお願いしたい。</p>	<p>継続事業として部分改修をしていますが、ご指摘の箇所は、民家のマキ囲いのところと、民家への入り口の橋の箇所です。</p> <p>現地を見ながら課題を整理していきます。</p> <p style="text-align: center;">【道路河川課】</p>	<p>D</p>
<p>◎ごみ袋の容量</p> <p>ごみ袋の容量が小さくなったが、分別方法が変わったため量が増えた。大きい容量の袋を整備してほしい。</p>	<p>新ごみ袋は、分別徹底、省資源、省コストの観点から、燃えないごみの袋と同じ半透明のポリエチレン製としました。容量については、従来の紙製のものが23リットル、今回の新しいものは2種類あり、大が30リットル、小が20リットルです。縛りやすくするためレジ袋タイプであることや、紙と違って立たないため小さく感じるのではないかと思います。当分はこの規格で行き、要望が多いようでしたら再検討いたします。また、生ごみの減量化やプラスチック容器包装、古紙類など資源物の分別を徹底していただき、ごみの減量にご協力をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">【環境保全課】</p>	<p>D</p>

南郷・西南郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎年輪の集いの実施 昨年度まで実施していたが、廃止されて残念であるがその理由はなぜか。</p>	<p>旧掛川市において実施されていましたが、なじみのない旧大東町や旧大須賀町の住民まで対象として実施すべきかどうか、財政的な問題、実施会場の確保、送迎の問題、実行委員会のなり手がなく、といったことなどから総合的に判断して、平成17年度以降は成人式のみ実施することとしています。 【教育文化課】</p>	—
<p>◎東海地震対策 地震発生後における市の対応策を伺いたい。</p>	<p>大地震は来ると想定しており、災害対策本部の設置に始まり、避難所開設、自衛隊救出までの3日間ぐらいはマニュアルでしっかり考えてありますが、神戸・新潟級をはるかに超える大地震に対して100%大丈夫とは言い切れません。市役所職員には、「まず自分が生きること、次に家族の安否。そして市役所に飛んでこい」と訓示しています。皆さんも自らの地形や地盤を知り、防災訓練で掘り下げていただきたいと思います。 【交通防災課】</p>	—
<p>◎駅南地域における緑の精神回廊 駅北には緑の精神回廊があるが、駅南にはない。アートハウス、池、神社、果樹公園、富士見台霊園等があるので、それらの既存の施設などを題材にして経費をかけずに精神回廊を企画・立案してほしい。</p>	<p>駅南にも花鳥園や東高付近、資生堂アートハウスなどを結ぶ「川南ルート」として当初から設定されています。 楽しく歩くことが緑の精神回廊の原点ですので、ご提案のような施設を踏まえながらルートの追加設定や歩行イベントの企画なども進めて行ければと考えます。 【都市計画課】</p>	D
<p>◎議員報酬について 市には1,000億円もの借金あることから、市長は、公用車も使わず報酬を20%カットしている。議員は、合併前は、36万円だったのに対し合併後に46万1千円に上がっているのは不自然ではないか。</p>	<p>市長、議員とも、報酬額は合併時の協議の上決定され、市長報酬額は、合併後に開いた特別職報酬審議会で審議され、近隣と比べても妥当だというご判断をいただいています。 私は、国会議員年金をいただいているので、減額の特例条例により20%カットしていますが、議員年金がなくなれば、またいただきます。 【市長】</p>	—

南郷・西南郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎収入役人事について</p> <p>議会で収入役人事が否決されたが、人物をよく承知の上で選任したのか、また、無記名投票を実施した理由は何か。</p>	<p>市議会は、会議規則や委員会条例の規定に基づき運営がなされています。無記名投票については、会議規則に、出席議員4人以上から要求がある場合には、無記名投票で表決をとることが規定されています。今回は5人の議員から要求があり実施されました。</p> <p>経過はいろいろあることと思いますが、議会での採決方法などは、議会運営委員会で協議し、議会として決定したことです。ご理解をいただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【議会事務局】</p>	<p>—</p>

上内田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎少子化抑制のための地域子育て支援施設の設置</p> <p>①運営費の問題で学童保育の実施が半年遅れた。半年で100万円の経費が掛かるため借財して始めた。地区の希望があれば、前倒しで資金提供を受けられると聞いたので、ぜひ援助をお願いしたい。</p>	<p>先進地では、地元の人たちが立ち上がって運営し、行政はその後に支援をしていますので、ご理解をいただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p>	D
<p>②旧幼稚園を使った「つどいの広場」の提供。核家族化では子育ての相談先もないので、親子の交流の場を提供できれば住民も定着するのではないか。</p>	<p>旧幼稚園を使った「つどいの広場」など、公共施設を有効利用し、地域の方たちによる運営によるものであれば、なお定着するものと思います。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p>	D
<p>③子育て夫婦の住まいの確保が必要であるが、当地は、農道や幹線が整備されれば、ベッドタウンとして最適である。城山団地があまり活用されていないため、有効な活用を期待したい。</p>	<p>和田地区の市営住宅団地は、民間活用の導入を研究し、住環境の整った計画づくりを進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【建築住宅課】</p>	D
<p>④父子家庭は全国的にも優遇されていない。父親の方が子育てに戸惑うことが多いと思う。千葉県や栃木県には父子家庭の支援制度があるので、掛川でも先進事例に倣い取り組んでほしい。</p>	<p>先進地の事例を参考に検討したいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p>	D
<p>⑤学童保育を立ち上げたものの、運営費に苦勞している。補助金は10人以上であれば160万円ほど交付されると伺っているが、10名確保は現実厳しい。地元だけでは対応できないため市や県の助成をお願いしたい。</p>	<p>学童保育は、20人以上で国の補助、10人以上で県の補助で、市もそれに沿って補助をしています。来年度4月に10人が確保できればということで、予算付けをしたいと思います。10人に満たない場合の市単独の補助については検討します。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p>	D
<p>⑥学童保育の新しい施設づくりには、小規模で多機能であること、また、地域密着が要件といわれている。障害者支援施設などを含め多機能施設を検討していただきたい。運営主体はNPOや有償ボランティアも含め、企業支援等もいただけるような受け皿づくりをしていくべきではないか。</p>	<p>NPOであれば、寄附ももらえやすくなるし給料も払えるなど、よい考えだと思います。障害者支援を含めた多機能という点でもそのとおりだと思います。自閉症状をお持ちのお子さん等も受け入れてもらえれば、補助や指導員も得られます。</p> <p>第五地区でも同様のお願いをしています。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p>	D

上内田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎幼稚園脇の道路拡幅 幼稚園を学童保育園にした場合、道路も狭く送迎車両の駐車スペースがないため拡幅していただきたい。</p>	<p>そこへ来るのに車が必要な遠くの人より、できれば近くの園児に利用してほしいと思いますが、駐車場に運動場の一部を利用することも含め、検討してまいります。 【福祉課・道路河川課】</p>	D
<p>◎主要地方道掛川大東線の改良 ①セブンイレブン交差点の南北車両は、信号1サイクルで2～3台しか右折できないため相良線へ迂回する車が多い。通学路でもあり昨年対策をお願いしたら「時間帯規制を行って様子を見たい」とのことだったが、前回の地区集会からの進捗状況は。 ②歩道が途中で細くなったり、なくなったりしている。前回同様引き続き要望する。</p>	<p>交差点改良については本年度緊急交通環境改善対策事業として予算が付きました。袋井土木事務所では、白線処理で道路復員を確保し「直進と左折を並列に」という考えで、公安委員会と協議が整いましたので、今年度中に実施します。 【道路河川課】</p> <p>当該道路は県道ですので、引き続き袋井土木事務所にお問い合わせしてまいります。 【道路河川課】</p>	A D
<p>◎市道高瀬線及び上板沢向ノ前線の整備 ①歩行者が危険であるため、歩道を設置していただきたい。 ②側溝に蓋がないため、ごみが投棄されたり、道路の土砂が積もったりする。大雨の際に機能を果たさなくなるため早期に設置をお願いしたい。</p>	<p>当該道路は農道事業として整備したため歩道や道路側溝への蓋は設置されていません。今後利用状況等を調査する中で検討してまいります。 【農地整備課・道路河川課】</p> <p>①に同じ。</p>	D
<p>◎板沢老人福祉センターの跡地利用 老人福祉センターの跡地利用はどのように検討しているのか。</p>	<p>現在のところは決まっておりません。地元の希望も伺いながら、今後検討していきます。 【高齢者支援課】</p>	D
<p>◎南北幹線道路の整備 ①道路整備による治水対策（出水時のシミュレーション等）はどのように検討しているのか。</p>	<p>当地区に計画している南北幹線道路については、ルートや構造について現在検討しているところです。道路整備に伴う水の問題については南北道の計画に合わせ検討してまいります。 【道路河川課】</p>	D

上内田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
②道路建設予定地の上流部に点在する未整備のため池の整備方針は。	道路建設の位置の決定に併せ状況把握したうえで検討していきます。 【農地整備課・道路河川課】	D

西山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎東環状線の早期開通について 掛川市の西高東低がますます進んでく懸念がある。整備の方向性について教えていただきたい。</p>	<p>本路線は、東名高速道路や新幹線を跨ぐ工事となり、試算では4車線全線供用で約140億円、暫定2車線整備で約90億円とされており、掛川市の財政力では未だ事業化の見通しが立たない状況です。このことから、この区間を民間資金を活用したPFI事業の対象区間として掛川市側から検討し、可能性ありの結論が出ましたので、今後は、国土交通省のご指導をいただきながら、民間施工業者や関係機関側から検証していただくと共に、掛川東環状線は県道のバイパス機能を持つことや事業費等の関係から、県道に昇格をしていただき、県道として整備を実施するよう静岡県に働きかけ実現に向け努力してまいります。【都市計画課】</p>	D
<p>◎地区集会で出された意見の取扱い この集会で出されたた意見などは、どのような取扱いをしていくのか。</p>	<p>集会の席上で回答できるものは、市四役及び関係部・課長等から回答をさせていただきます。 しかし、全ての意見に対する事業を実現することは非常に困難であります。 意見は、役所内の関係部署で十分に協議をさせていただき、対応できるものは極力対応してまいりますのでご理解とご協力をお願いします。【地域振興課】</p>	-
<p>◎新エコポリス内への商業施設誘致 商業施設は旧掛川市の西部地区に偏っている。旧掛川市東部地区には、衰退はしていないものの新しい商店が開店しない。新エコポリスの第二工事も進んでいるため、工場も必要だがこの様な中にも商業施設を誘致してもらえないか。誘致されることにより、西山口地区をはじめ旧掛川市東部地区の商業地盤が変わり、東環状線や満水新駅も実現の可能性も高まるのではないか。</p>	<p>新エコポリス第2期工業団地開発については、現在、農振除外のための農業振興計画を策定中で、平成22年造成工事完成を目指しています。これにあわせ、この区域への企業誘致を進めていきます。 商業施設の出店は、民間業者が全国的な市場調査に基づき決定がされます。この区域以外の土地利用につきましては、今後も、まちづくり検討委員会、地権者をはじめ関係者と協議して進めていきます。【商工観光課】</p>	D

西山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎主要地方道掛川浜岡線の舗装整備 オーバーブリッジ西、靴流通センター前付近の道路舗装が悪く雨が降ると水溜りができ、生徒たちが登校する際に歩道を歩いていると通過車両から水をかけられているため、整備をお願いしたい。</p>	<p>県道ですので、管理者である袋井土木事務所掛川支所に要望していきます。 【道路河川課】</p>	C
<p>◎オーバーブリッジ沿線の振動対策 オーバーブリッジを通過する車両により、沿線の住宅が昼夜を問わず家が揺れている。先日舗装改良工事を実施したので若干ゆれは減ったが、工事の位置選定の主旨と今後の整備方針は。</p>	<p>施工箇所は、地元の区長さんと相談して選定しました。一度にたくさん施工できないので、少しずつ行っています。今後もよく現地を調査し、順次工事を進めて行きたいと考えております。 また、振動調査については、10月12日～13日の2日間にわたって、葛川地区の杉村宅東側の駐車場にて測定調査を実施しましたが、全ての時間帯で要請限度を超えていませんでしたので、生活環境への影響は少ないものと考えられます。 【都市計画課】</p>	A
<p>◎葛川橋梁踏切の改良 青葉台から線路を越す場合、オーバーブリッジを自転車でも渡れるようになっているが、実際には困難。 子どもたちは西側の小さな上張踏切を使っている。今のところ事故は起きていないが危険だと思う。なんとか改良できないか。</p>	<p>現在、オーバーブリッジ西側には踏切が2か所ありますが、双方共に踏切の施設としては、安全が確保できるように整備されていると思いますが、今一度調査検討させていただきます。 【都市計画課】</p>	D
<p>◎地区内空き宅地の草刈の実施 雑草が生い茂り害虫が発生する。これからの時期、枯れ草火災の危険もある。草刈りにお金が係るため、市で草刈を実施してもらえないか。</p>	<p>空き地の草刈りについては、条例によって所有者や管理者に適正管理が義務付けられており、市から草刈りの勧告や命令を行うことができます。しかし、ご質問のあった青葉台区内の不在地主の宅地は、市でも八方手を尽くして所有者と話をしようとしたのですが、連絡が取れませんでした。そこで地元と相談をし、草刈りを地区の環境美化と位置付け、ごみ分別説明会などとセットで行うことにより市の環境保全事業補助金の対象としました。お陰で地元と市が共同で草刈りを行うことができました。今後も地区のご協力により生活環境の確保に努めてまいりますので、ご協力のほどお願いいたします。 【環境保全課】</p>	A

西山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎掛川市立病院の中核病院化</p> <p>当地域には3つの公立病院があり、どこも医師不足が深刻化されている。また3病院ともレベルは同格である。</p> <p>この3病院の中で中核病院を決め、他の病院はサテライト的なものにしたらどうか。</p>	<p>医師不足は、全国的な課題であり、当掛川市立総合病院をはじめ近隣病院も例外ではありません。医師の確保、病病連携による医療機能の分担など、今後の病院のあり方を考えるに当たっては、広域的な病院連携のもとでの検討を欠かすことができません。ご指摘の3病院だけでなく、中東遠地域5市1町での検討の場を設け、検討を深めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【病院総務課】</p>	B・D
<p>◎掛川市立病院医師の確保</p> <p>市立病院の医師確保は、どのように行っているのか。</p>	<p>医師の確保については、喫緊の課題としてとらえており、本年度の病院運営目標の第一に「医師の確保を図ること」を掲げ、関連医局に医師の派遣を依頼するとともに、病院ホームページを活用し確保に努めています。また、医師確保に向けて、医師の待遇改善策として、医師の勤務過重の軽減策を推進し、給与、各種手当の増額などを検討しています。</p> <p style="text-align: right;">【病院総務課】</p>	A・B
<p>◎健康安心サロンの土曜日受診化</p> <p>勤め人の場合、土曜日ならば受診できる人が多々いる。静岡の病院では土曜日に受診してもらえるためわざわざそこへ行って人もいる。</p> <p>掛川市立病院も毎週土曜日とはいわれないので、年に数回土曜日を受診できるようにならないか。</p>	<p>午前中は、常勤医師のうち外来のない10人の医師が交代でドックの診察、検査、読影を担当していますが、平日の診察や休日夜間の救急業務に加えさらに休日出勤を要請することは、代休を取得できない現況から、対応できません。また、午後の面談は非常勤医師で対応していますが、休日出勤は困難であり、応援の医師を土曜日のみ依頼しても派遣は困難なのが実情です。</p> <p style="text-align: right;">【医事課】</p>	D
<p>◎東循環バスの早期開通</p> <p>東回りの循環バスをぜひお願いしたい。実現すれば、西山口地域住民が便利になる。地元では100円で赤字ならば200円でもよいと言っている。平成16年10月5日に最終協議をするということだったが急に取りやめになった。その後何の話もないが、どのようになったのか。</p>	<p>東循環バスの運行計画につきましては、今年度設立した公共交通計画策定委員会の中で、公共交通空白地域の解消対策の一環として、今後調査検討させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>	D

東山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類 型
<p>◎伊達方隧道の整備について</p> <p>東山口地区（市内の東部地域）でいう南北幹線道路は、県道菊川停車場伊達方線であり、むしろ掛川駅よりも菊川駅のほうが近い。</p> <p>昭和30年代後半に道路が整備されて以来、トンネルの拡幅がなく、3K（くらい・きたない・きけん）である。大型車が来た場合は、すれ違いもできず、また、草むらの中にトンネル内の幅員が狭いことを知らせる標識が隠れている状況である。</p> <p>今後は、菊川以南との交流が高まってくると思われる。「小笠は1つ」ということは、東部地域ではつくづく感じるものである。菊川市との連携や新エコポリス事業と併せ一刻も早く整備していただきたい。</p>	<p>伊達方隧道は、昭和32年完成、48年経過化した古いトンネルです。現況幅員は片側2.25m両側で4.5m。現在の基準では最低でも車道幅員2.75mが必要で、加えて歩道3mはほしいと思います。袋井土木事務所を通じて県にお願いしています。</p> <p>県では国道1号から菊川市内西方の掛川浜岡線にかけて3.3kmを道路整備計画の中であげていきたいとの意見です。</p> <p>トンネルは11mに広げるのが理想で、約2億5千万円の工事費が見込まれます。</p> <p>県も財政的に厳しいですが、地元の強い要望があると県に伝えていきますので、地元でも市役所と一緒に協力をお願いしたいと思います。 【道路河川課】</p>	D
<p>◎東山口地域生涯学習センターの修繕</p> <p>地域づくりの拠点は、学習センターであり、利用者も年々増加している。近年、利用に影響が生じてきたため、①床の修繕 ②事務室の拡張（書庫スペースの拡張）をしていただきたい。</p>	<p>床の修繕については、翌年度予算で対応する予定です。事務室の拡張については、書庫などを独立した物置などへ格納する方法等で書庫スペースを確保し翌年度対応する予定です。 【教育文化課】</p>	B
<p>◎東山口小学校運動場のトイレ整備</p> <p>小学校運動場の西にトイレがあるが、汲み取り式で不衛生である。以前、トイレは、地域のために学校にお願いして設置したという経緯がある。学校にも関連する施設として、早急に清潔なトイレを整備していただきたい。</p>	<p>地域、学校と連絡調整を密に、平成18年度予算で対応いたします。 【学校教育課・スポーツ課】</p>	B

東山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎小原子新池の整備</p> <p>小原子の新池は、明治以前にできた池である。平成9年より水をぬき10～13年度に工事を施工し完成した。14年度に地元へ管理を渡されたが、台風期には満水になるものの、肝心な4月から5月のいちばん水が必要になるときに、池に3分の1くらいしか水がたまっていない。明らかに漏水している。この池は、防火用のため池にもなっているため早急に調査し整備してもらいたい。</p>	<p>貯水しない原因を現在も調査しています。調査の結果、工事方法や処理の仕方が判明すれば対応をしたいと思えます。</p> <p style="text-align: right;">【農地整備課】</p>	A
<p>◎環境資源ギャラリーの事故対応と地元への報告</p> <p>9月に環境資源ギャラリーの事故が発生した。満水には早速事故の連絡があったようであるが、東山口まちづくり委員会には10日経っても連絡がなく、こちらから連絡を入れて対応した経緯がある。風向きによっては東山口地区は大きく関係してくることもある。今後事故が起きた場合、事故調査委員会の組織体制や地元への周知方法がどのようになっているか教えてもらいたい。</p>	<p>環境資源ギャラリーを管理している掛川市・菊川市衛生施設組合に確認したところ、今回の件の時点では、環境委員会が組織されていなかったこともあり、早急に連絡しなければということで、東山口地区内の対象4地区の区長さんに連絡をさせていただいたとのことです。まちづくり委員会に連絡しなかったことは申し訳なく思っております。</p> <p>現在は、環境委員会も組織され、まちづくり委員会委員長にもこの委員会に加わっていただきました。地元から要請があれば、随時説明にまいりますので、ご連絡をいただきたいとのことです。</p> <p>また、今回の事故を受けてこれまでの緊急対応マニュアルを見直し、緊急度に応じた連絡体制の変更がされました。</p> <p style="text-align: right;">【環境保全課】</p>	A

東山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎有害鳥獣対策</p> <p>シカ、サル、イノシシが最近出没する。近代化施策は進められているため、道路舗装などは良くなってきている。市は、里山の自然をどのように整備していくのか検討をしているのか。農作物には被害があるものの、人体には影響は出ていない。今後の対策は。</p>	<p>県によれば、イノシシの増加は森林や農地の荒廃化が原因とも言われています。このため市では、野生動物からの農作物等の被害防止と開発行為等における野生生物への影響の軽減と、野生生物と人間との共生を目指して、自然動物共生研究会を発足しました。</p> <p>イノシシ等による農作物被害については、被害防止と有害鳥獣捕獲の2本立てで対策を行っております。被害防止策として、電気柵の設置等に対して1/3補助を行います。また、被害状況を確認後、必要に応じて猟友会にお願いして有害鳥獣捕獲業務を実施します。</p> <p>今後は、農作物等への被害防止を目的に被害者及び猟友会等の関係者による有害鳥獣被害防止対策協議会を発足させ、被害防止策等を検討いたします。 【農林課】</p>	A

日坂・東山地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎残土処分運搬車両による道路の修繕 地区内では、残土処分に伴う運搬車両が行き来している。特に農道を通過する場合は、道路舗装が通常の道路に比べ薄いため傷みが著しい。 運搬車両による道路の傷みなどの因果関係は市ではどう対応しているのか。</p>	<p>早速踏査いたしました。どこの業者が入れているかは確認がとれませんでした。因果関係が確認できればその業者に補修をしてもらうようにします。 一定規模以上の残土処分場は、県条例の基づく許可が必要です。この処分場については経緯を含めて調査を致します。 【農地整備課・都市計画課・道路河川課】</p>	A
<p>◎畑総17号支線農道の打ち切りと今後の対応 畑総17号農道は、地元負担に係ることから、途絶えてしまったが、平成16年度に新たな形で持ち上げるように話をしてきた。 事業が長期化のため、1期工事は終了、現在は2期工事として担い手畑総として進めているが、道路は17年度で打ち切りとなった。 17年2月に県、市と地元協議会で話の場をもち、打ち切られた道路は市で継続的に何らかの方法で整備していただきたいという要望をした。 この道路は管理上必要なものであるため、部分的でもよいため整備をしていただきたい。</p>	<p>畑総事業は昭和48年度から長期にわたっており、県で見直しをして、20年度までに終了させたいということで、平成16年度に推進協議会の方に寄っていただき、農道か畑地灌漑かという選択から、畑地灌漑の要望があり、今年度もそちらを重点にして3億円の事業をしています。 農道については、事業費や事業採択の点で非常に難しい面があります。一部の拡幅改良という手法も視野に、市として対応していきたいと考えています。 【農地整備課】</p>	B
<p>◎日坂幼稚園跡地の整備 日坂幼稚園跡地は、日東地区の中心的なところに立地している。いろんな遊具もあり日坂地区へ無償で市から貸与させていただいているが、近年遊具や旧園舎が老朽化しており危険な状態である。事故があつてからでは遅いため、整備していただき、地元で有効に利用できるような場所にしていただきたい。</p>	<p>市と区との管理の区分を見直して、はっきりしておく必要があります。今後遊具の整備をする場合には、区になるべく迷惑がかからない方法を考えたいと思います。 【幼児教育課】</p>	D

日坂・東山地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎公図不整合地域の事業の実施方法</p> <p>公図が合わないから事業が実施できないといわれる。5号線のルートの中には公図と整合していないところがあり、1年半くらい事業が手つかずのままのところがあった。</p> <p>今後も事業を進めるにあたり、市では、このような現場がある場合はどのように対処していくのか。</p>	<p>現況と公図とが合っていないと登記ができません。現在の公図は明治時代の古いものなので、地籍調査事業を行って正しいものに修正しています。大東・大須賀区域では完了していますが、掛川区域では市域の1割もできていません。</p> <p>工事ができないと困るので、工事実施と合わせてその付近の地籍調査を行うなどの手法も考えられますので、市役所内部で検討させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【管財課・農地整備課・道路河川課】</p>	D
<p>◎道の駅掛川への喫茶店の開店</p> <p>今年度、掛川地区は茶の3大品評会で農林大臣賞を総なめした。せっかく道の駅があるなら日本一おいしいお茶を飲ませてくれる喫茶店を開店しPRを図ったらどうか。</p>	<p>道の駅店舗内に喫茶店を設営することは、店の内外ともに、スペースの関係から現実的に不可能です。</p> <p>日坂・東山のお茶を全国に広くPRしたいとの趣旨は大切なことです。現在道の駅では、地元の茶商が店舗を構えています。そこで一緒にPRしたらと思われれます。</p> <p style="text-align: right;">【農林課・商工観光課】</p>	E

粟本地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎市道杉谷初馬線の整備</p> <p>杉谷初馬線は狭隘、急坂、蛇行おまけに地すべり地帯。また、小学校の通学道路にもなっている。平成15年に着工するという説明をいただいたが、都市計画に入れることで計画が遅れた。平成15年に地権者を含めて説明をして了解をとっているが、なかなか着工いただけないのが現状である。この道が整備されれば駅や東名、病院まで行くにも非常に便利になる。粟本地区住民だけではなく、倉真や原泉地区の方も便利になる。ぜひこの道路の必要性を見ていただき1日も早く着工していただきたい。</p>	<p>都市計画道路杉谷初馬線は、昭和36年に都市計画決定され、その後、昭和47年に成滝地区から水垂地区まで、また、平成15年には初馬地区、県道方ノ橋菌ヶ谷線まで延伸され、全体延長4,030m幅員16mの道路であります。</p> <p>整備状況であります。杉谷区から葛ヶ丘区の北、都市計画道路千羽水垂線との交差点までの3,510mが完了し、それより北側520mが未整備区間となっています。</p> <p>この未整備区間につきましては、旧掛川市の重点道路整備計画15路線18箇所位置づけされており、必要性、緊急性等を総合的に検討し、新市の道路網整備計画の中で検討してまいります。 【都市計画課・道路河川課】</p>	D
<p>◎水垂1号線の整備</p> <p>10数年前から懸案事項であり、16年度の回答は、「拡幅は現状では無理がある。水垂の区画整理事業の都市計画を外すことにより、単独で進めることができる。しかし、全国でも区画整理の都市計画決定を外すことは例がない。都市計画課で挑戦し、なるべく早く方向付けをしていきたい。」との回答であった。</p> <p>西環状線などは非常にバラ色の計画が伺える。水垂は1つも主要（整備）事業がない。何とか整備できないか。また、特区申請は可能なのか。</p>	<p>水垂1号線は狭くて大変な道路であるということは認識しています。せめて待避所だけでも用地が確保されれば整備をしたいと考えています。</p> <p>都市計画決定の廃止については、これに変わる新たな制度を、現在国や県の関係機関に協力をお願いしています。市としても精力的にがんばってまいりますので、引き続きご協力をお願いします。</p> <p>【都市計画課・道路河川課】</p>	D

粟本地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎葛ヶ丘地内の道路整備 葛ヶ丘が造成され30年。道路も同じく経過。細部については、地区要望で修繕いただいている。 16年6月と17年6月に交通量調査を行った結果、3割くらい交通量が減っているが10t以上の大型車が非常に通るようになり、道路の破損は著しく、沿線住民には揺れも生じている。 16年度：120m、17年度：120m 整備したが、この調子だとあと4年は係ると思われる。短期間で予算も大変だが補修工事を実施してもらいたい。</p>	<p>区長さんから場所を連絡していただければ、振動調査は行います。 今年度は、500万円予算で舗装修繕工事(L=120m)を実施しましたが、全ての区間の舗装修繕工事を完了させるには、あと4年ほどかかりますが、できるだけ、地元の要望に答えるよう整備促進を図る努力をしております。 【都市計画課・道路河川課】</p>	B
<p>◎城北小学校の通学路整備 城北小学校脇の道路が狭く非常に危険。この道路はカインズや西郷のスーパーに行くのに便利な道路のため交通量も多い。初馬川の堤防道路も昔のままの道である。子供たちの安全のために整備をお願いしたい。毎日見ていると非常に危険な状態である。</p>	<p>現在、市道改良の重点目標の一つとして、通学路を含め交通弱者のための歩行スペースの確保に努めていますが、要望箇所が多く順次整備を行っています。当地区では市道戸塚初馬線や小学校筋違橋線などの要望があります。今後必要性、緊急性を総合的に検討して整備を行ってまいります。なお、道路拡幅改良事業において、道路用地の確保が重要課題となっております。地権者皆様の一層のご理解ご協力をお願いいたします。 【道路河川課】</p>	D
<p>◎初馬川の改修について 倉真川改修事業は、初馬会館西側の畦住橋までで事業完了となっている。畦住橋より上流についても法面崩落が各所にあり、竹も繁茂している。これらの竹や土砂が川に崩落すると危険が高まる。崩落箇所の補修は若干していただいたが、災害が起こってからでは遅いため、安全対策と地域環境保全の観点から早期の改良をお願いしたい。</p>	<p>畦住橋上流約250mについては災害復旧及び関連事業で改修が行われています。これより上流部の改修の手法について検討するとともに、管理者である袋井土木事務所にも要望してまいります。 【道路河川課】</p>	C

粟本地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎新掛川市の財政計画</p> <p>①昨年4月の合併報告会では財政計画は、411億円の計画といていた。今年6月の当初予算では448億円ということで示されていた。もう一度しっかりした財政計画を見直していただきたい。</p> <p>②合併特例債が116億円となっているが、最高に特例債を利用した場合は、どのくらい活用できるのか。また、道路整備などに特例債を活用できないのか。</p>	<p>平成17年度当初予算は、合併協議会における財政計画の決定から1年以上経過し、合併に伴う新市長などの執行体制の確立、その後の経済状況や国・県の動向の変化や制度改正等を勘案し編成したものであります。</p> <p>今後は合併協議事項の尊重とともに新たに策定される掛川市総合計画等を踏まえ財政計画を見直したいと考えます。 【総務課】</p> <p>合併特例債の借入限度額は約320億円(H15年度試算時)であります。「合併協議状況報告書」中の財政計画では約110億円を活用する予定としました。具体的事業計画や今後の財政状況を勘案し活用をしていきたいと考えます。 【総務課】</p>	<p>D</p> <p>D</p>
<p>◎災害時の水源確保</p> <p>葛ヶ丘には、上水のタンク600tがある。1日に使う量は1,100tのため半日分の貯水量はある。このタンクは震度5・150ガルで自動停止すると聞いているが、大地震のときには、3日分の水を自分で確保するようにいわれている。現在のタンクは、600tの3分の2になると水が追加されるということになる。</p> <p>給水がストップしても400tは供給してもらえらと思うので、水源を何とか確保してもらいたい。</p>	<p>水道の配水池、貯水槽には地震対策として、緊急遮断弁が設置されており、震度5以上の揺れを感知すると、自動的に弁が作動しタンク内の水を確保する仕組みになっています。これにより、掛川市内では、応急給水水源として、約54,000%の水が確保されます。地震が発生し、水道が停止した場合は、このタンク内の水を用いて応急給水することになります。しかし、震災後、市の応急給水体制が整うまでには、相当の時間を要しますので、各家庭でも、震災に備え1人1日3リットルの3日分を常備しておくようご協力をお願いします。 【水道総務課】</p>	<p>—</p>
<p>◎公共事業により生じる光と影の解消</p> <p>葛ヶ丘は近年のバイパス無料化、宮脇線の開通で、光の部分が増えた。</p> <p>その反面、交通量の増大、沿線の振動や騒音などの環境問題など影の部分が生じてきた。道路整備や新しい団地ができたりするのを否定するわけではないが、光ができれば影もできることがある。ぜひ今後も影の部分を頭において事業を実施してもらいたい。</p>	<p>今後事業を実施する際には、十分に勉強させていただきます。 【都市計画課・道路河川課】</p>	<p>D</p>

粟本地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎福祉・防災マップの作成</p> <p>災害が起きた場合、地域の世帯情報は民生委員しか知らない。しかし、民生委員だけでは負担が重く対応しきれないと思われる。</p> <p>防災地図を作成する組織づくりなどの後押しを行政で行ってもらえないか。</p>	<p>福祉・防災マップは、今後の防災対策の大事なプランと考えています。市役所内でも研究をさせていただきます。</p> <p>【交通防災課・福祉課・道路河川課】</p>	D
<p>◎障害者を含めた防災対策</p> <p>昨年の控帖では、今後研究させてくださいとの回答であったが、その後どのような研究をされたのか。</p>	<p>災害が発生すると平常時でも様々な支援を必要とする人にとっては、安全な場所に避難することや避難先での生活を続けることに大きな困難が生じます。そのためには、民生委員や社会福祉協議会などの福祉関係者との連携は必要不可欠となります。また、いざというときに災害時要援護者の安否確認、避難支援が確実にできるよう、地域で予め要援護者の所在を把握しておく必要があります。事前にどのような支援が必要か自主防災会を中心に話し合い、迅速に支援できる体制づくりをお願いします。</p> <p>なお、強制ではありませんが、自主防災会ごとに災害時要援護者台帳があれば、迅速に対応できると思います。いずれにしても、日頃から地域のつながりを大切にし、災害時要援護者や家族の方にも防災訓練に積極的に参加するよう呼びかけていきます。</p> <p>障害の内容は身体障害、知的障害、精神障害と分かれ、その内容も非常に多く防災対策の内容も障害内容に合ったものにする必要があります。18年度には、交通防災課と福祉課が協力し、聴覚障害者用の情報端末を試験的に導入する予定（設置場所未定）です。</p> <p>【交通防災課・福祉課】</p>	D
<p>◎弱者への取り組みについて</p> <p>障害者の生の声を聞く会をもっといただきたい。市民の声を聞きお金を費やさなくてもできるものはあると思う。特に、弱者は2cmの段差が限界である。水垂地区の歩道は車椅子では通れない。歩道の段差解消や隣組連絡網の必要性などお年寄りが安心して住めるまちづくりをお願いしたい。</p>	<p>掛川駅では、エレベーターの設置工事が進んでいるなど、公共的な場所は、できることから順次対応しております。</p> <p>歩道の段差問題については、通学路の現地確認の際に合わせて確認させていただきます。</p> <p>なお、市長相談日には、障害をお持ちの方から多くの意見が寄せられています。</p> <p>【福祉課・道路河川課】</p>	D

城北地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎城北地域生涯学習センターの移転 幼保園の開園が延びる動きがある。城北地区の学童保育を、センターで行った場合には、多目的に利用ができると考えられよい集会施設ができる。現在の考え方を、幼保園の経過と併せて伺いたい。</p>	<p>(仮称) 南部幼保園と (仮称) 西部幼保園の2園が建設中です。国の補助金の関係上、(仮称) 西部幼保園は幼稚園部を4月に、保育園部を9月に開園し、(仮称) 南部幼保園は保育園部を9月に、幼稚園部を19年4月に開園します。次の整備箇所として(仮称) 原谷幼保園の建設を計画しており、18年度より建設を進めていく予定であります。</p> <p>それ以外の箇所については、8園構想を踏まえながら検討していきます。</p> <p>城北保育園の跡地利用については、地域の声を聞きながら施設を所有している法人と検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【幼児教育課・教育文化課】</p>	D
<p>◎城北地区の浸水対策 浸水対策には決め手がない。浸水する家は、区画整理実施後も移転していない地盤が低い家が該当する。区画整理をする時には、「浸水はない」という事で進んできたが、現実的には浸水するところが出ている。毎年浸水被害がでないよう何らかの対応をお願いしたい。</p>	<p>抜本的な改修には、調整池の設置などが考えられますが、莫大な経費が必要となり財政的にも非常に厳しい状況にあります。弥生町や北門付近は、大雨が降るたびに道路が川のようになることは承知しており、現地もチェックしています。水路のバイパスや水路の複断面化を検討している箇所もあります。問題や課題を研究し、できることから整備していきますのでご理解とご協力をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D
<p>◎下西郷記念公園の駐車場整備 下西郷記念公園は、地区管理もしっかりしている。多い時には、30～40人の親子が来るが、駐車スペースがない。さらに、周辺は駐車禁止区域であり、巡視員もよく巡回している。子育ての観点から、公園の南側付近に駐車場を整備してもらえないか。</p>	<p>本公園については、掛川市下西郷土地区画整理組合内の街区公園であり、誘致距離250mの範囲とされているため、駐車場については確保する必要がないと考えておりますが、どうしても駐車場が必要な場合には、公園内の南側付近に確保できるか、今後調査検討させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>	D
<p>◎市広報紙等の刊行物の統合 ①広報かけがわ以外に、議会だより、社協や農業委員会だよりなどがあり、非常に参考になるが、それぞれ単独発行である。市の広報紙に、それぞれページを折り込んで統合したらどうか。</p>	<p>広報かけがわは、市政全般・市の行事予定など、お知らせしなければならない記事を主に掲載しています。他の団体の内容が掲載されてしまいますと、読者に混乱を招くことにもなりますので、現状でのご理解をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【秘書広報課・福祉課・ 農業委員会事務局・議会事務局】</p>	E

城北地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>②それぞれ単独発行であり、綴じ方向が統一されない。今後統一することはできないか。</p>	<p>綴じ込み表紙は広報紙を2年間分保存することを目的に作っています。綴じ方向については、できるだけ統一させていくために、関係機関に周知はいたしますが、すべての機関紙を1つのものに統一することはなかなか難しいものと考えます。</p> <p>【秘書広報課・福祉課・農業委員会事務局・議会事務局】</p>	D
<p>◎広報掲載の『実学実践』</p> <p>市長が広報に連載している「実学実践」について、市政に対する考えを、市長自らが述べてくれるのは、市の動きをチェックするにも参考になる。今後も計画的に書いて連載してほしい。</p>	<p>市民のみなさんが健康で過ごすことにより、病院へかからなくて済んだり、あるいは、保険を使わなくてもよくなります。そうすれば、市の財政も助かります。みなさんの健康により幸せが訪れてくることも市政と考えています。この記事を計画的に連載していますので、引き続き愛読くださるようお願いいたします。</p> <p>【市長】</p>	A
<p>◎平成17年度予算の説明</p> <p>平成17年度の予算書をみると、説明が大雑把で内容をつかみにくい。紙面が限られているのならば、予算説明の時だけでも紙面を増やすなど、だれもが歳入・歳出を納得できるよう記載していただきたい。</p>	<p>11月1日号の広報かけがわに、平成16年度の決算状況を比較的わかりやすく掲載しました。今後も予算や決算を市民の方にわかりやすく説明したものを広報に掲載してまいります。</p> <p>【総務課】</p>	D
<p>◎「生涯学習」から「生涯教育」への考え</p> <p>5月の議会が終わったあと、市長は、「学習センターは一考する必要あり」と明言したことが、市長の第一声として記憶している。また「生涯学習」ではなく、「生涯教育」にしたらという風のたよりもあったが、この点についての市長の考えは。</p>	<p>旧掛川市は20数年前から生涯学習宣言を提唱していましたが、旧大東・大須賀町の方には生涯学習は馴染みが薄い言葉であると思います。</p> <p>新掛川市では、それぞれ違った環境で育った市民が融和してやっていくためには、慎重に対応していかなければなりません。決してこれまでの「生涯学習」を「生涯教育」にしようと言明したことはありません。</p> <p>より多くの市民が「生涯学習」に馴染んでいただければ幸いに思います。</p> <p>【市長】</p>	-

城北地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎災害時における情報伝達と市民の関わり</p> <p>防災無線では一般との会話はできないため、アマチュア無線を持っている組織を上手に利用したらどうか。「情報が遅れる」ではなく、どうしたら早く伝達できるのか、そこへどう市民を巻き込んでいくかという発想をしたらどうか。</p>	<p>アマチュア無線組織の活用については、これから組織の方と話し合いの場を持ってみたいと思います。</p> <p>個別受信機についても、これからデジタル化に対応するよう整備していきます。</p> <p style="text-align: right;">【交通防災課】</p>	D
<p>◎「まちの駅」の実施</p> <p>一豊記念館の開館に合わせ、来場者に案内したりトイレを貸したりする『まちの駅』を実施したらどうか。</p> <p>まちの駅は、県内では富士市をはじめ、全国で15～20くらいの都市でやっているようである。</p>	<p>まちの駅は県内では富士市、静岡市及び焼津市にあります。</p> <p>NHK大河ドラマ「功名が辻」放映を契機に、掛川市の観光・歴史・文化を全国発信するため「千代と一豊・掛川館」を核とするフェスタを開催しています。駅構内に臨時観光案内所を設置したり、観光案内所へのボランティアの増員配置等をして、観光客のおもてなしを充実させています。まちの駅ではありませんが、訪れていただいた観光客に観光案内をしたり、トイレを貸す協力店「おもてなしの店」を募集し、24店の応募がありました。観光客にお店がすぐわかるようにステッカーを表示して、対応しています。</p> <p style="text-align: right;">【商工観光課】</p>	D
<p>◎道路や堤防の樹木の管理について</p> <p>天守閣からの歩道は緑の精神回廊によりきれいに整備されている。倉真川と初馬川、西谷川へ14～16年に桜の苗木を170本植栽した。ところが、花が咲く前から虫がつくため地元で消毒をしているが、木が大きくなるにつれて、手に負えなくなっている。公園の管理はしていただいているが、一般的な道路や堤防についても管理していただけないか。</p>	<p>都市計画道路の街路樹や都市計画公園の樹木については市で管理しています。</p> <p>河川の堤防部分についても市で樹木管理できればいいのですが、現状では財政的な面や河川管理上難しい状況です。したがって地元の皆様のご理解を得て今まで通り地元管理でお願いしたく、ご協力をお願い致します。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>	E

城北地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎弥生町公園の照明整備</p> <p>弥生町公園に樹木を植栽してから20～30年が経ち、夜になると照明が木の枝で覆われ「物騒だ」と話題にあがる。公園の照明はどう整備していただけるのか。</p>	<p>照明灯を阻害していた樹木については、枝等を剪定して明るくなりましたので、現状の照明灯でご理解をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>	A

倉真地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎過疎化対策</p> <p>①地区内に優良宅地がないため、他地区にとられてしまっている。第2東名事務所跡の空き地を利用した小規模宅地開発など、地区内で宅地造成できないか。以前、宅地造成のために測量を行った経緯がある。</p> <p>②近年、空き家を探し求めてくる人がいるため、空き家の紹介などをしていただけないか。</p>	<p>宅地造成は、民間業者に開発を行っていただくことが大切です。</p> <p>倉真地区は、駅まで20分弱、第二東名の開通や温泉施設など、地域活性化のための資源がたくさんあります。みなさんもプラス思考で、今後のまちづくり計画をしていくことも必要だと思います。</p> <p>地元の熱意があれば、市としても前向きに検討したいと思います。 【市長】</p> <p>最近、都会の高齢者などを中心に、田舎暮らしの魅力に興味を持つ方が増えており、潜在的需要はあると思いますが、行政として空き家紹介など、直接的に仲介することは難しいと考えます。間接的にはなりますが、今後とも豊かな自然との共存ができるなど、市内の魅力を積極的に発信し、掛川市への居住を誘導していくことに取り組んでいきたいと考えております。 【企画調整課】</p>	D
<p>◎倉真川の河川改修</p> <p>①平成15年に事業が完了したが、予定区域の200m手前で事業が終わってしまった。その先は、川が「くの字」に曲がっており危険であるため改修できないか。</p> <p>②河川改修に伴い堤防の管理用道路が散策道になっているが、コンクリ再生材で歩きづらく、雑草の始末が大変なためアスファルト舗装していただけないか。</p> <p>③改修が進むにつれ、支流の川底が低くなり護岸が崩れたりしている。支流の対応をどのようにしていくのか。</p>	<p>倉真川は、農業予算で昭和49年から平成15年に改修され、事業見直しにより予定区域の200mを残し打ち切り事業となっていました。管理者である県袋井土木事務所に改修の要望をしています。 【道路河川課】</p> <p>申し訳ありませんが、雑草の除去は、地域の方で対応をお願いします。現地については調査させていただきます。 【道路河川課】</p> <p>支流の対応については、現地を調査し、河床止め等で効果があれば工事も検討していきます。 【道路河川課】</p>	C E D

倉真地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎老人単世帯の区につきあい 老人単世帯でも、通常の世帯と同じように区費の徴収や草刈などの付き合いをしていかないといけない。今後高齢化が進むにつれ、通常世帯と同じような付き合いをすることが厳しくなってくる。現在は、行事に出られないと負担金をとられる。今後の対応はいかなものか。</p>	<p>地域の実情等がありますので、市として統一的な方針をお示しすることは不可能であります。申し訳ありませんが、地区の中で実情をよく話し合いしていただきたいと思ひます。 【地域振興課】</p>	E
<p>◎浄化槽市町村設置型について ①10%の個人負担でできるのは、有益であるが、勾配のとれない家はポンプを付けないといけないが、個人負担とのことだが、ポンプを付ける家と付けない家では差が出る。どちらの場合も10%補助で対応することはできないか。 ②当初計画は50基で、18年度はもう少し増えるようである。3年でこの事業は終了してしまうようであるが、5年くらいは継続していただくことはできないか。</p>	<p>ポンプの設置については、先進地の事例等も含め検討しましたが、個々の宅内排水設備として、個人のご負担をお願いしたいと存じます。なお、なるべくポンプを設置しなくてもよい方法を検討し、相談しながら進めてまいります。ポンプを設置するかどうかは、最終的に設置者ご本人の判断としていただきたいと思ひます。 【下水整備課】</p> <p>面的に整備することにより、水質浄化を図ることが目的の事業です。できるだけ短期間で集中的に実施し、事業効果を高めるために、期限を決める必要があります。倉真地区では、おおむね3～4年間で事業が完了できるよう、ご協力をお願いします。 【下水整備課】</p>	E D
<p>◎パンダ広場の整備 ①大勢の方が来場されているが駐車場にラインが引いてないため非効率な止め方になっている。ラインを引いてもらうことはできないか。 ②旧幼稚園は建築後25～26年経過しているため、建物や遊具の損傷が著しい。市で整備していただけないか。</p>	<p>平成17年11月15日に教育文化課にて対応済です。 【福祉課】</p> <p>今後検討させていただきます。 【福祉課】</p>	A D

倉真地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎幼稚園統廃合の状況</p> <p>当初、幼稚園の8園構想がでていたが、噂によると4園で打ち切りになるのではということを知った。現在の状況どのようなになっているのか。</p>	<p>現在（仮称）南部幼保園と（仮称）西部幼保園の2園が建設中です。国の補助金の関係上、（仮称）西部幼保園は幼稚園部を4月に、保育園部を9月に開園し、（仮称）南部幼保園は保育園部を9月に、幼稚園部を19年4月に開園します。次の整備箇所として（仮称）原谷幼保園の建設を計画しており、18年度より建設を進めていく予定です。それ以外の箇所については、8園構想を踏まえながら検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【幼児教育課】</p>	D
<p>◎市職員の人員管理</p> <p>合併後の職員数は増加しているが、人員管理については的確な調整をされているのか。</p>	<p>11月1日号の広報かけがわには、一般行政職の級別職員数560人となっていますが病院は入っておりません。全体的には約1,300人となります。その他、嘱託職員等を含めると約1,600人が市の業務に従事しています。国や県などから示された職員数に準じております。</p> <p>特に、消防職員については、小笠地区消防組合が掛川・菊川それぞれに分離されたため増員となっています。</p> <p>今年度、年度別の職員削減数を決めましたので、病院医療職員を除き今後10年間で128人、14%の削減をしていきます。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p>	B
<p>◎浜岡原発の安全性</p> <p>①プルサーマル計画の話題があるが、倉真地区へは影響がないか。</p> <p>②大地震が起きても、原子炉は安全なのか。</p>	<p>プルサーマル導入計画の申請に当たっては、国の審査による十分な安全性が確認されたうえでの許可が前提となっています。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p> <p>浜岡原子力発電所は耐震設計震災指針に基づき、国が厳格な審査を行い、この地域で考えられる最大の地震にも耐えることが確認されています。</p> <p>また、不測の事態に対しても、国、県、近隣市及び関係機関が連携し、住民の安全を確保するための対策を迅速かつ的確に実施することになっています。</p> <p style="text-align: right;">【交通防災課】</p>	—

西郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎学童保育</p> <p>①行政指導により実施するものか、あるいは、地域の発意で行うものか。仮に行政指導によるものならば、なぜ西郷地区は漏れたのか。</p> <p>②運営方法には、社会福祉協議会と地区の2種類ある。現在地区運営されているところも、最初は社会福祉協議会運営から独立したものなのか。</p> <p>③保育中に事故がおきた場合の責任の所在と保険の内容は。</p> <p>④定員40名に対し、指導員は3名で対応できるのか。</p>	<p>学童保育は地域のみなさんの発意で運営することが大切です。現在市内に13施設あり一部社会福祉協議会に運営を委託している施設もありますが今後は、地元組織による自主運営に切り替えていく予定です。</p> <p>市としては、将来20施設ほどに増設していきたいと考えておりますので、西郷地区でも近い時期に開設できる体制を整えていただければ協力させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p> <p>運営方法で地域が運営している学童保育所は、地域の方々により組織を独自に立ちあげ運営しているもので、社会福祉協議会から独立したものではありません。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p> <p>保育中の事故責任の所在ですが、そのときの事故の状況により異なると思います。</p> <p>また、保険内容としましては、施設利用者死亡・後遺障害、入院・通院保障があります。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p> <p>現在実施している学童保育所では、40人規模の施設で、2人～3人の指導員で保育していますので、指導員3名で対応できるものと判断しています。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p>	<p>C</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>
<p>◎通学路整備</p> <p>美人ヶ谷、滝ノ谷、長間は主要地方道掛川川根線の一部通学路になっている。用地買収は終わっているものの中央にガードレールがあり不自然な状況になっているところがある。</p>	<p>現在袋井土木事務所が調査しています。</p> <p>今後、工事着手できるよう県にお願いしてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	<p>C</p>
<p>◎北中学校正門前の信号機の移設または新設</p> <p>北中学校正門前の信号機はほとんど利用されていないため、中学校西側交差点に正門前の信号機を移設または新設できないか。新設の場合は、間隔が短いため難しいかもしれないが、学童が通るところのため配慮願いたい。</p>	<p>信号機の移設や新設は所轄警察署経由で県公安委員会が決定します。このため、交差点の形状や設置の間隔なども含め、警察との協議が必要です。要望の箇所は学校・PTAからの要望もあり、平成14年度に現在の位置に移設した経緯があります。この経緯がありますので、現段階では移設・新設は難しいと考えます。</p> <p style="text-align: right;">【交通防災課】</p>	<p>E</p>

西郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎市役所の昼休みの消灯について</p> <p>昼休みの市役所は、電灯が消されており、対応する職員も暗く感じてしまう。せめて、必要などころだけ点灯するようにしたらどうか。</p>	<p>現在、世界規模で問題となっています地球温暖化の原因である二酸化炭素を削減するため、工場事業所や家庭において積極的に省エネルギーを推進しております。</p> <p>市役所でも平成16年7月にISO14001の認証を取得し、市民の皆様の模範となるよう、率先して環境配慮活動を積極的に進めています。</p> <p>庁舎内の執務時間以外の消灯は、この目に見える行動の一つです。</p> <p>実際には、1階や2階の一部フロアは、市民窓口業務に対応するため常時点灯させている場所と必要に応じて照明を点灯している場所があります。3階から5階のフロアについては、業務に支障のない範囲でできる限り消灯を実施しています。</p> <p>庁舎内では、その他にも昨夏に話題となりましたクールビズのような空調の温度調整も冷房28℃、暖房20℃の低めの設定を平成12年度から取り組んでおり、紙の購入量の削減としての裏紙利用や廃棄物の減量のための資源化物の徹底分別等の省資源、省エネルギーによる環境保全対策と経費節減に取り組んでおりますので、みなさまのご理解とご協力をお願いします。</p> <p>なお、職員については、笑顔で明るく接するよう努力してまいります。 【総務課・管財課・環境保全課】</p>	A
<p>◎市の補助金や交付金の支払い時期の連絡</p> <p>市から補助金や交付金が支払われる際に通知がないため、何らかの方法で支払い時期等の通知がほしい。</p>	<p>出納室からの支払い通知は、債権者登録をした法人のみに限らせていただいておりますので、各区への通知はしておりません。各部署に関係することでもありますので、もっともよい手法を検討させていただきます。</p> <p>【出納室】</p>	D
<p>◎スポーツ振興跡地の開発計画</p> <p>スポーツ振興跡地に畜産団地ができるという話を聞いた。仮に畜産となれば、汚水、排水や臭いなどの環境問題(公害問題)が重要視されてくるため、この話が事実かどうか伺いたい。もし事実であるならば、事前に地区と協議する機会などを設けてもらいたい。</p>	<p>本年度基本構想を策定し、実施計画の策定等に伴う話し合いを進めていきます。</p> <p>具体的な案ができましたら地元との協議も実施してまいりますので協力をお願いします。</p> <p>【農林課】</p>	C

原泉地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎主要地方道掛川川根線の整備</p> <p>①原泉小学校付近の県道拡幅事業を今後も継続して実施してもらいたい。</p> <p>②森林組合付近のカーブは幅が狭く地元でも危険箇所である。森林組合を移転するなどして、直線で安全なルートを検討していただきたい。</p>	<p>昨年度の継続で整備を進めています。今後も引き続き県土木事務所や地元の関係者と協議を進めながら整備していきます。 【道路河川課】</p> <p>現在の道路はカーブを大きくとって坂の勾配を緩やかにしています。直線ルートについては、用地や移転の問題が絡んできますので今後、県との協議を図りながら現場を踏査し検討していきます。 【道路河川課】</p>	<p>A</p> <p>D</p>
<p>◎原泉地区の農業・農政</p> <p>①離農や農家人数の激減の波が押し寄せて、きれいな空気や水を供給する森林や農地が荒れてきている。これらの対策は。</p> <p>②現在の農業支援制度は、認定農家に重点がおかれている。しかし、原泉地区には1件しか認定農家がないため、もう少し地区に見合った制度を検討すべきではないか。</p>	<p>平成18年度より、旧大東町で実施していた「農業活性化やる気塾」をJA支所単位で組織化し、その中で対策を検討していきます。 森林整備につきましては、県の治山事業(森林整備)として「水源森林総合整備事業」を行っており、主に荒廃した森林の間伐を原泉全域で実施しております。 【農林課】</p> <p>認定農業者以外への支援制度は現在もあります。新たな支援制度の創設については今後検討させていただきます。 【農林課】</p>	<p>B</p> <p>D</p>
<p>◎泉地内の携帯電話対策</p> <p>笠掛から奥は携帯電話が通じない。道もよくなり、多くの人が休日には訪れるようになった。泉地区は、高齢化も進んでおり、1人住まいや2人住まいが半数くらい占めている。消防の情報なども携帯電話が利用されると思われるが、何か対策はないか。</p>	<p>市としても携帯電話業者に原泉地区の圏外地域の状況は説明してあります。引き続き業者には、早期に対策が講じられるよう要望をしていきますので、ご協力をお願いします。 【地域振興課】</p>	<p>D</p>

原泉地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎ならここの湯の整備</p> <p>17年6月の株主総会で、老人福祉関係でゆっくりくつろげるところが必要だという話題があった。原泉地区も高齢化が進んでおり、大変よい案とされているため、是非進めていただきたいが、株主総会後の話が進展していないようである。その後の方向性はどうか。</p>	<p>既存施設の休憩室を拡張し、食堂を新設する計画もありますが、基本的に事業実施は(株)森の都ならここにお願ひしたいと考えております。</p> <p>この様に早急の対応が出来ないことから、既存施設を市内の老人クラブの会員に利用して頂き、色々な意見・要望・アイデアをお聞きするモニタリングを実施し、それに基づき老人福祉施設（施設拡張）としての温泉施設整備を検討してまいります。</p> <p>【農林課】</p>	D
<p>◎泉地内の簡易水道</p> <p>簡易水道の水源に行くのに距離がある。組管理のおかげで何とかおいしい水を飲んでいくことができるが、戸数も少なくなり、タンクも年々老朽化している。保守的なものを市でお願いすることはできないか。</p>	<p>今後の簡易水道の維持管理について、地区の皆さんとよく協議していきたいと思ひます。</p> <p>【水道総務課】</p>	D
<p>◎原泉小学校の複式学級対策</p> <p>原泉小学校は全校児童30人程度ではあるものの、先生方の努力により、学力については標準に保つことができている。集団生活に遅れをとるのではないかと心配や複式学級への心配をもつ保護者もいる。今後の方針はいかがか。</p>	<p>少子化に伴い、平成16年度より全面複式授業になりました。それだけに地域の皆様の将来へのご心配は大きなものがあるかと思ひます。児童数の推移を見ても、平成21年度からは20名前後の人数になり、必ずしも「子どもたちの教育」という視点からみて、適正規模とはいえません。今後は、原泉小学校に限らず、学校の適正規模のあり方について考え合う「検討委員会」を立ち上げ、研究していきたいと思ひます。</p> <p>【学校教育課】</p>	D
<p>◎原野谷川ダムの整備</p> <p>ダム付近は、昭和35年頃までは溪谷がすばらしい場所だった。今はヘドロやゴミが浮かび、地区内で一番汚い場所である。防災機能も低下しつつあると思われるため何らかの対応をお願いしたい。</p>	<p>ダム本体を中心として、土砂が堆積していますので、貯水容量の確保とゲート操作の確保を図るべく現在、中遠農林事務所で浚渫を中心とした事業計画をしています。基礎調査が完了後に、事業実施を計画しております。事業に際しては、浚渫土の処理場の確保が最大の課題となります。</p> <p>【農地整備課】</p>	C
<p>◎市長歳費カット分の使途</p> <p>市長歳費を20%カットしたが、カットした分の使途はどのようになっているのか。</p>	<p>使途については、限定せずに財源の一部として活用しています。</p> <p>【総務課】</p>	-

原田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎山間地の福祉問題</p> <p>①原田地区独自で医療バスを週4回実施している。毎週4日ボランティアで運転しているが予算的に厳しい。一昨年までは、利用者に負担していただいたが、市から白タク行為になるため廃止するようとの指示だった。この地域にも100円バスなどがあれば問題は解消できる。福祉バスを独自運営しているところに援助してもらえないか。</p> <p>②原田小は児童数が年々減少している。5年後には、児童数が70人を割る。そこで5、6年先を見通したとき、地震避難地としても有効な小学校をどう利用していくのか。</p> <p>③掛川市が独自に子育て支援に係る費用援助制度を創設することはできないか。</p> <p>④社協の協力でいきいきサロンなどを実施している。土・日の開催になるが、市から保健師等の派遣はお願いできないか。</p>	<p>地域福祉バスの活動対応については、現在60万円ほどの補助を行っています。今後も継続して補助していく予定であります。</p> <p>また、原田地区と同じように、交通手段の不足している地域の解消も含め、今後の公共交通計画の策定を行うことを目的とした委員会を発足しましたので、他課の施策と調整を図りながら先進地事例を参考にして、その地域に見合った交通手段の確保を検討していきたいと思っております。 【都市計画課】</p> <p>万一大地震が発生した場合、地域の皆さんの当面の避難場所として、学校の校舎、体育館、運動場を提供することは、当然のことと考えています。しかし、初期の混乱状況が収まった後は、学校は一日も早く授業を再開しなければなりません。そのためには、少なくとも普通教室に避難している方に別の場所へ移動して頂く必要が生じます。このことは、児童生徒の多い少ないは全く関係ありません。以上のことから、地震発生直後からしばらくの間は別として、落ち着きを取り戻した後は、授業の成立と避難場所の確保の両立が図られるように、平時の内に地区自主防災会と学校（校長）が協議をし共通理解しておくことが大切と考えます。 【学校教育課】</p> <p>児童手当の所得や年齢制限枠の拡大、補助率の格下げなど国の大幅な制度改正が予定されています。大変厳しい財政状況が予想されますので、検討させていただきます。 【福祉課】</p> <p>可能な限り保健師等も派遣していきますので、ぜひご相談ください。 【保健予防課】</p>	<p>B</p> <p>—</p> <p>D</p> <p>A</p>
<p>◎農業問題</p> <p>①高齢化が進み、荒廃農地が増えている。農産物価格の低迷等で個人所得も伸びていない。この問題を市としてどう検討しているか。</p>	<p>地域の農業は、地域の実情により異なりますので、JA支所・支店単位にやる気塾（地域塾）を17年度中に立ち上げ、その組織の中で、地域で抱える農業問題を探り、将来方向を地域全体で整理し、進めていきたいと考えています。 【農林課】</p>	<p>A</p>

原田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>②元気塾の進捗状況は。</p> <p>③原田地区の農振地域を次代にどう受け継ぐかが課題。農用地区域の除外は行政でもハードルが高い。集団的に農振除外をして転用を促進し住宅建設が進むような環境を整備したい。</p>	<p>元気塾でなく、やる気塾というネーミングで農協支所単位に立ち上げてまいります。大東区域は既に組織化されておりますので、掛川区域・大須賀区域について、18年3月までに設立していく計画です。 【農林課】</p> <p>農業投資（基盤整備事業）により整備した場所は宅地化することができません。 平成18年度に農業振興地域の見直しを行いますので、農業委員会を中心に、将来農地として残すべきところや、宅地造成を図るところの土地利用を協議していったらよろしいかと思えます。 【農林課】</p>	<p>A</p> <p>D</p>
<p>◎有害鳥獣対策</p> <p>①イノシン等の有害鳥獣駆除に係る補助があるが、檻を設置するための助成制度は創設できないか。</p> <p>②狩猟期間の延長はできないか。</p> <p>③鳥獣保護法や条例で繁殖しない餌付けを可能にするなど何らかの措置はできないか。</p>	<p>電気柵設置と同様に、檻(わな)の購入費用についても助成を行っております。しかし、本年度は要望が非常に多く、既に予算額を消化してしまいましたので次年度に対応させていただきます。 【農林課】</p> <p>狩猟期間は法律で定められており、変更は困難です。 【農林課】</p> <p>野生獣を飼養して去勢等は困難です。また、その条例化も不可能です。 【農林課】</p>	<p>B</p> <p>E</p> <p>E</p>
<p>◎市道明ヶ島線の整備</p> <p>今後も継続して事業が進むよう要望する。</p>	<p>市道明ヶ島線の整備は、今後も継続して実施していきます。 【道路河川課】</p>	<p>A</p>
<p>◎現場確認後の市からの報告</p> <p>法面崩落や欠落があると市から現地調査に来てくれるが、その後の対応について地元への連絡がないため困ることがある。細かなことでもいいので市の対応について連絡がほしい。</p>	<p>今後は、現地を確認した後の対応について、地元の関係者に連絡するよう徹底します。 【道路河川課】</p>	<p>A</p>

原田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎大井川広域企業水道について 原里の取水場を利用しているが、大井川広域企業水道をジョイントして原田地区まで延長することはできないか。</p>	<p>現在の計画では原里の水源は自己水源として活用していくことになっていますので、大井川広域水道の送水管を延長することはありません。しかし、将来的には、水需要や水源状況の変化により計画を見直すことも考えられます。 【水道工務課】</p>	D

原谷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎西幹線道路の整備について</p> <p>今後の整備計画について明確な方針を出してもらいたい。地元では、離農も増えてきており、農地への影響が懸念される。</p>	<p>西環状線の都市計画決定にあたっては、合併に伴う上位計画による東遠広域区域マスタープラン(静岡県決定)の位置づけが必要であり、現在静岡県と調整を図っているところです。また、農業政策と和田岡古墳群との整合性などを関係機関と協議した上でルート決定を図っていきたいと考えております。 【都市計画課】</p>	B
<p>◎主要地方道焼津森線の通学路整備</p> <p>子どもたちの安全のために、サングリーンから小学校に行く間の県道に歩道を整備していただきたい。</p>	<p>主要地方道焼津森線の通学路の安全確保については、県へ強く要望していきます。 【道路河川課】</p>	D
<p>◎幡鎌地内の道路整備</p> <p>区内の道路を1本は整備していただいたが、まだまだ狭いところが多くあるため、引き続き整備をお願いしたい。</p>	<p>地元の方と現地を確認しながら、今後の整備について検討していきます。 【道路河川課】</p>	D
<p>◎細谷区内の主要地方道掛川天竜線の改良</p> <p>細谷区内、いこいの広場より北へ200m付近の沿線住宅では振動が著しい。今後第二東名が整備され交通量の増大が予測される。振動計を据えての調査をしていただき、早期に道路改良工事をお願いしたい。</p>	<p>環境保全課にて振動調査を実施しました。調査結果は、道路の修繕等を要請する限度を下回っていました。 【道路河川課】</p>	A
<p>◎市営住宅整備について</p> <p>①築30年を経過し傷みも著しい。改修や修繕費もかさむと思われる。この建物と土地の将来の考え方を伺いたい。</p> <p>②現在4棟ある住宅に8世帯のみ入居している。特に、空き家であると、不審火の発生など防犯上も好ましくない。早期に解体し、老人や子どもが利用できる集会所などを検討願いたい。</p>	<p>原谷第2団地については平成16年度から建替工事を進めています。住環境に優れた市営住宅の建設促進を図り、本地域のまちづくり推進に努めます。 【建築住宅課】</p> <p>現在の状況は、環境的にもあまり良くない状況であります。住環境を良くするために、できるだけ早く問題が改善できるよう検討していきます。 【建築住宅課】</p>	B D

原谷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>③分譲という話があるが、災害時の避難地を確保したいため、地元払い下げという選択肢はないか。</p>	<p>今後よく検討させていただきます。 【建築住宅課】</p>	D
<p>④第二団地が2棟完成した後も、民間を活用する方向で整備してもらいたい。</p>	<p>民間企業などの活用も視野に入れながら検討していきたいと思います。 【建築住宅課】</p>	D
<p>◎原谷地区の将来展望 掛川市は西高東低と言われている。第2東名の頓挫や西環状線ルート未決定などがあり、将来発展が懸念される。原野谷川流域や掛川天竜線沿線の発展計画があると思うが、原谷は、市の西北の果てとなるため、将来放置されそうな気がする。市の将来性の方を教えてください。</p>	<p>掛川市は、平成18年度より3カ年を掛けて、住民の意見を反映させながら都市づくりの将来ビジョンの確立、地域別のあるべき市街地像課題に対応した方針などを定める都市計画マスタープランに着手して参ります。またこれと平行して都市活動に伴う円滑な移動を確保することを目的に(仮称)掛川西環状線を含め掛川市道路網整備計画策定に着手します。【都市計画課】</p>	B
<p>◎原谷地区への商業店舗の誘致 原谷地区に以前スーパーがあったが閉店してしまった。お年寄りなどが、食生活に不便をきたしている。掛川天竜線沿いにスーパーや道の駅などを建設したらどうか。</p>	<p>商業施設の出店は、民間業者の全国的な市場調査等に基づき決定がされるものですが、誘致についてできる限り努力してまいります。 【商工観光課】</p>	D
<p>◎老人病院の建設 掛川市は福祉施設については進んでおり、県内でもAランクであると聞いている。一般の特養はあるが、病院に入って治療をする老人病院が欠けている。北病院は、庶民ではなかなか入院できない病院であるため、浜名湖病院や豊橋の二川、浜松の都田などへ行かないと病院がない。今後、庶民でも入れるような老人病院を誘致してもらいたい。</p>	<p>老人病院の建設にはかなりの時間を要します。市内に老人病院が開設されるようできる限り努力していきます。 【高齢者支援課】</p>	D

原谷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎地域包括支援センターについて</p> <p>先般、静岡新聞に介護サービスとして地域包括支援センターを設置するという記事が載っていたが、どのような施設になるのか内容がわからないため教えてもらいたい。</p>	<p>地域包括支援センターは、市内高齢者の介護予防や相談業務などについて総合的にお世話する機関として、既存の在宅介護支援センターをグレードアップしていくものであり、サービスを提供する施設ではありません。</p> <p>平成18年4月には、市役所内に1か所設置し、今後は、順次か所数を増やしていきます。</p> <p style="text-align: right;">【高齢者支援課】</p>	—
<p>◎防災マップについて</p> <p>防災マップには、地域の危険箇所が記されている。区でもこの地図をもとに中学校を中心として防災会議を行ってきている。防災マップに記された危険箇所への対策はどのように実施されているのか。</p>	<p>旧掛川市では、平成16年度にハザードマップを作成し配布しました。現在、桜木地区での土砂災害防止法に基づく危険箇所の現況調査と倉真地区戸沢の地すべり防止対策の工事を行っております。</p> <p>危険箇所については、ご連絡いただければ道路河川課職員が現地を確認させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【交通防災課・道路河川課】</p>	D
<p>◎西山区内の農業用水整備について</p> <p>西山区内は農業用水が独立している関係上、渇水期に入ると水がなくなる。頭首口を整備していただき、しばらくの間利用させていただいた。しかし、渇水期には区で当番制で水管理（ポンプアップ）しているため、何とか良い方法はないか。以前、用地の確保ができなかったため、整備が先送りになった例がある。</p>	<p>用地の確保を地元で進めていただき、確保できれば、対策を講じていきたいと思えます。</p> <p style="text-align: right;">【農地整備課】</p>	D

桜木地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎市道杉谷家代線の整備</p> <p>①下垂木3区～白泉寺橋間の早期開通</p> <p>②静銀掛川西支店前の変則交差点の改善</p>	<p>まちづくり交付金の将来像を描きながら単独事業として調査をしていきます。現況測量が完了した段階で、整備に掛かる計画を、財政計画とともに検討していく予定です。3月までに測量が完了しますので、それ以降に地元の人と意見交換をしていきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p> <p>朝夕の渋滞も承知しております。国または県の補助事業により整備していきたいと考えておりますので、平成19年度に公共事業として採択していただけるよう静岡県に働きかけてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>	<p>B</p> <p>D</p>
<p>◎路側帯の確保</p> <p>既存道路にあるセンターラインを消して路側帯を広く確保することはできないか。</p>	<p>市道飛鳥新田線については、公安委員会と協議し、路側帯を広く確保しました。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	<p>A</p>
<p>◎北循環バスについて</p> <p>①18年4月から北病院を經由することであるが、年間5千数百万円の赤字と聞いており、これをやって果たしてプラスになるのだろうか。一企業の敷地を經由する理由はなぜか。</p> <p>②将来エバーグリーンまで延伸する予定はあるのか。</p> <p>③さんりーなの利用者は多いが、經由することはできないか。</p>	<p>相手は民間業者ではあるものの、利用者の利便性を重視するため北病院を經由することとしました。これにより延長された分を、徳育保健センター前で調整していきますのでご協力をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【市長】</p> <p>現在の状況では他の病院まで延伸することは事実上不可能です。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p> <p>循環バスの時間設定に余裕がなく、さんりーな経由は難しい状況ですのでご理解をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>	<p>—</p> <p>E</p> <p>E</p>
<p>◎ごみ収集について</p> <p>①環境資源ギャラリーの稼動により燃えるごみが増え、燃えないゴミが減った。月1回の収集でよいと思われるが、市ではどうとらえているか。</p> <p>②燃えないゴミの中に、燃えるゴミが入っているようだが、収集日を変更すれば解消するのではないか。</p>	<p>燃えないごみの減少に伴い平成18年4月から収集回数を週1回から月2回に変更します。今後、確実な分別徹底が図られるようになれば、更なる見直しを実施していきます。</p> <p style="text-align: right;">【環境保全課】</p> <p>収集回数の変更は前述のとおりです。分別が徹底されていない地区については、分別説明会などの啓発活動を実施していきます。</p> <p style="text-align: right;">【環境保全課】</p>	<p>B</p> <p>B</p>

桜木地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>③「燃えるごみ」と「燃えないゴミ」どう推移しているか。</p>	<p>9月以降燃えないごみの量は減少しており、月単位ではこれまでの量の約3分の1以下に減少しています。しかし、燃えないごみの中には、プラスチック資源や燃えるごみが混入したものも見受けられますので、更なる分別徹底に努めていきます。 【環境保全課】</p>	A
<p>◎17年度予算（9月補正）について ①追加と増加の用語の使い方の違いは。 ②国際交流基金の積立金額9,510万円の増の内容は。 ③アスベスト調査委託料500万円追加とあるがこの額でできるのか。 ④宮脇の第1土地区画整理事業、2億6千万円ほどあるが、もとの82億円からなぜ必要になったか。</p>	<p>「増加」は当初予算から増額になったものであり、「追加」は当初予測されなかったものが新たに発生したものを意味します。 【総務課】</p> <p>市有財産であるアメリカ・オレゴン州の研修宿泊施設であるロロマロッジは、施設の老朽化等により維持管理が困難、そして年々利用率も減少し国際交流の効果を上げることが難しくなってきたため、その土地・建物を売却し、今後の国際交流事業に役立てるため、基金に繰り入れをしたものです。 【地域振興課】</p> <p>この調査は公共施設の吹き付けアスベストの分析調査費です。また、下調べをして見積書も徴取してありますので、予算の範囲内で分析調査が対応できます。 【環境保全課】</p> <p>前年度7億2千万円の事業費が、今年度は5億円の当初予算でした。国のお金を先行投資し、市で付け増しする財源にも限度があるため、保留地を売却し、財源に充てましたが、前年度並みの予算にするには、2億数千万円追加しないと、前年度と同額にならなかったものです。これにより、宮脇・秋葉線が事業化され来年度までに完成させるものです。なお、事業内の経費をやりくりしたもので全体事業費が増加したものではありません。したがって、みなさんの税金を増して投資したわけではありません。 【区画整理課】</p>	— — — —
<p>◎桜木地区の路線バスについて 路線バスは第3セクターでなく、民間業者が走らせたいという話あったが、その後途絶えているがどうなったのか。</p>	<p>三笠運輸が幼保園の送迎を実施することで進んでいます。幼稚園の送迎は朝と夕方のみのため、日中の空いている時間を利用して、桜木のみなさんに便宜を図るため運行するという構想です。 今後よく調査研究をしてみます。 【都市計画課】</p>	D

和田岡地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎学童保育の実施について</p> <p>①学童保育の事を知っていただき、和田岡に1日も早く学童保育を始めていただきたい。</p> <p>②中央小の学童保育は、公設民営形式で社協に委託しているが、市としては、委託料の外に事故保障等はどうの対応をしているのか。</p>	<p>学童保育は、地域主体の運営組織を整備することが必要です。利用料は月額5,000円～11,000円で小学校低学年を対象に、地域の特性を活かして実施しています。地域運営の場合は、対象年齢にも弾力性があります。現在13か所中8ヶ所が社協に委託しておりますが、これからは地域の組織運営に移行をしていく方針です。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p> <p>市からの運営委託を受けている社会福祉協議会が傷害保険に加入し、事故補償に対応しています。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p>	D —
<p>◎市立病院の産婦人科について</p> <p>島田市民病院では、出生率低下で、産婦人科がなくなりましたが、掛川市立病院の状況と今後の背景は。</p>	<p>掛川市立総合病院では、現在2人の常勤医と1人の応援医師で対応しています。また、常勤医の増については、関連医局に要請しています。</p> <p style="text-align: right;">【病院総務課】</p>	—
<p>◎生涯学習センターの転用</p> <p>合併により、シオーネと生涯学習センターの2施設（ホール）あるが、生涯学習センターは老朽化しており、赤字が年間5,000万円もあるため、他の施設にしたらどうか。</p>	<p>現在のところ、生涯学習センターを他の施設に転用する計画はありません。</p> <p style="text-align: right;">【教育文化課】</p>	E
<p>◎文化会館シオーネへのバス路線</p> <p>シオーネに行くにはバス路線がないため、100円バスを走らせたらどうか。</p>	<p>バス路線を全ての地域に設定することは不可能であります。また、シオーネの利用が常時行われている状況ではないため、路線バスを走らせることは難しいと思われます。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>	E

和田岡地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎市の公債費について</p> <p>公債費1,000億円は、一般・特別両会計の合計か、また、市の年間予算における新規公債費の額はいくらか。</p>	<p>総債務残高1,003億4千万円あります。内訳は、普通会計地方債492億8千万円、債務負担行為82億2千万円、その他会計の地方債（例：下水道・上水道・病院275億円）、一部事務組合地方債残高（環境資源ギャラリーや総合体育館さんりーな等）70億5千万円、財団法人掛川市開発公社・長期借入金残高78億円となっていますが、中には市の借入金ではなく、資産的部分も含まれております。その他の第3セクターの長期借入金が4億9千万円あります。</p> <p>今後とも、事業を精査し債務残高が増えないよう努力してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【総務課】</p>	—
<p>◎少子高齢化対策</p> <p>掛川市では第1子・2子には5,000円、第3子には1万円の児童手当を交付しているが、しばらくこの金額で据え置かれている。</p> <p>3年間緊縮予算の中で、多少なりとも考慮されるのか。例えば、3人以上の子どもがいれば、高校に入学する際、両親に褒賞金を交付するなどの制度はどうか。</p>	<p>少子高齢化は、国も県も大きな課題の1つであります。褒賞金制度には厳しいものがありますが、掛川市では乳幼児医療の所得制限を廃止するなどの措置を講じております。</p> <p>少しでも子育てがしやすい環境を目指して努力してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課・保健予防課】</p>	E
<p>◎市職員の削減計画</p> <p>合併における住民意識調査の結果で、市役所の人件費節約が43%あるが、旧1市2町の職員数そのままスライドし1,297人いる。今後どのように削減していくのか。</p>	<p>年度別職員削減数に基づき、今後10年間で128人、14%を削減していきます。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p>	B
<p>◎西環状線の路線について</p> <p>路線を決定する際には、優良農地を守る方向でお願いしたい。</p>	<p>環境アセスメント調査を実施し、国や県、地元自治会などと協議の場を持ちながら整備していきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>	B
<p>◎地産地消の推進</p> <p>この集会に出されているお茶は、他産地の茶であるが、市内で実施する際には極力地元産の商品を使っていたきたい。</p>	<p>地産地消の推進に努めてまいります。貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p style="text-align: right;">【地域振興課】</p>	A

和田岡地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎幼保一元化について</p> <p>①幼保一元化の進捗状況は。</p> <p>②幼保園実施に係る子どもたちや保護者へのメリットは。</p> <p>③仮に和田岡の園児が原谷に行くようになった場合、小学校区も中学校区も原谷の園児とは別の区域になる。桜木であれば中学校で同じ区域になれる。将来を見越して、同じ学区になれるような区割を検討すべきではないか。</p>	<p>現在、(仮称) 南部幼保園と (仮称) 西部幼保園の2園が建設中です。(仮称) 原谷幼保園につきましては、今年度基本設計と実施設計の作業に入っています。今後は建設に向けて準備を進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【幼児教育課】</p> <p>幼保園では年齢や幼稚園児、保育園児の違いを超えて合同で活動することによる遊びの広がりがありますし、0歳から5歳児と一緒に生活することによるやさしさや思いやりが育っていく教育効果があります。また同年齢クラスが複数あることでクラスの団結力が高まります。</p> <p>保護者にとっては、主に就学前乳幼児の全体を系統的に見ることによって、我が子の特性を具体的、直接的、实际的に認識する機会が得られます。</p> <p style="text-align: right;">【幼児教育課】</p> <p>確かに通学外の小・中学校との関わりを持つこととなりますが、幼保園側の一貫教育は地域性を重視しつつも再編計画を進める上で幼保園の子供と小学校・中学校教育との関わりを重視した方向に転換せざるを得ないと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【幼児教育課】</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>D</p>
<p>◎幼保園の授業料</p> <p>幼稚園は月額6,000円であるが、保育園になると月額20,000円超と聞いている。急激な負担増となり家計への影響も大きい。料金設定について再考できないか。</p>	<p>保育料につきまして、公立幼稚園が私立幼稚園に変わることにより保育料が高くなります。そのため市ではできるだけ保護者の負担を少なくするよう、就園奨励金補助制度の充実に努めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【幼児教育課】</p>	<p>A</p>
<p>◎市立病院小児科医師確保</p> <p>市立病院の小児科外来を常勤医師のみではなく、大学病院などから派遣された医師も含めてローテーションし、1人主治医が同じ患者を診察しなくてもよい方向にしたらどうか。</p>	<p>現在、小児科の常勤医は2人ですが、その他に応援医師として、毎週曜日を定めている3人と毎月1日の2人をお願いし対応しています。</p> <p style="text-align: right;">【病院総務課】</p>	<p>A</p>
<p>◎親水公園の整備</p> <p>現状の親水公園はゲートボール場である。遊具等も設置して子どもたちも遊べるような場所にしてほしい。</p>	<p>親水公園の整備計画は、平成15年度地元の皆様と一緒に作成したものであり、遊具の設置も含めて計画されています。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	<p>B</p>

曾我地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎曾我地区の住居表示・字地番の整理 (行政区との統一化)</p> <p>曾我地区は、狭い地域に10の大字が入り組んでいる。地域住民にも煩雑であるため、宅急便や郵便が誤配達されることもある。逆川の蛇行による河川改修が行われたりしたことから字が入り組んでいると想定される。区画整理もなかなか難しい状況であるため、よい方法があれば市の指導をいただき、地域住民は何をすればよいのかご教示願ひ、自治区と字区域との整合を図りたい。</p>	<p>曾我地区は中世からの歴史があります。明治22年の市町村制が施行されたことにより、1町9か村が合併し曾我村が誕生しました。</p> <p>字区域の変更は、地元の熱意があれば変更することができます。しかしながら、変更にはかなりの時間を要します。</p> <p>また、地名には中世の頃から続く古い歴史があるため、変更することにより、その名前が失われるという面もあります。</p> <p>字区域を変更した場合、住民票等は市で変更しますが、免許証等は自分で住所の変更手続きをしなければなりません。また、行政区の変更も生じることもありますので、どの地域を変更するか十分な協議が必要です。</p> <p>変更の際には勉強会の実施など、市としても、十分な支援をしていきますのでご検討願ひます。 【管財課】</p>	D
<p>◎小学校の通学路整備</p> <p>①善光寺橋と国道1号を結ぶ道路の善光寺橋から約10m区間が、道幅が狭く歩道もないため改善願ひたい。</p> <p>②ローソン領家店付近から領家高橋までの約100m区間に歩道の設置。</p> <p>③領家高橋に歩道専用の橋の設置。</p>	<p>道路拡幅は現状では困難と思われます。カラーリング等で歩行スペースの明示を実施しました。 【道路河川課】</p> <p>市道改良計画の中で歩道改良として検討します。 【道路河川課】</p> <p>川幅も広く、橋長も長くなるため早期の実施は困難です。 【道路河川課】</p>	A D E
<p>◎市立病院院内報の組回覧</p> <p>掛川市立病院の院内報があり、区長に配布されているようであるが、組回覧をしていただくことはできないか。</p>	<p>病院のPRや広告は、法律によりその内容について厳しく規制されていますので、院内報を組回覧や全戸に配布するようなことができません。そこで、地域生涯学習センターなど限られた範囲の施設のみに配布させて頂いておりますのでご理解ください。 【病院総務課】</p>	E

曾我地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎曾我地区へのバス路線の開通</p> <p>病院は休日休診である。平日にバスが走っていれば病院に行ったり、そのついでにスーパーにも寄ったりすることができる。できれば南循環バスを細田公会堂付近まで延長して運行することはできないか。</p>	<p>バス路線を全ての地域に設定することは不可能であります。年間に約1千万円の赤字も生じております。循環バスを曾我へ延伸させた場合には、巡回の時間も伸びます。また、北循環と南循環のバスの時間を一致しなければなりません。特に100円バスは民間業者の経営を圧迫させることもあります。</p> <p>曾我地区のみなさんがバス路線開設を要望していることは十分承知しております。今後も検討してまいりますのでご理解とご協力をお願いします。 【市長】</p>	D
<p>◎農地利用集積による耕作者支援制度について</p> <p>農業技術は進歩したものの、後継者は少なく、荒廃する遊休農地が増加している。担い手支援として、農地利用集積を農業委員会でやっているが、借主（耕作者）に支援をして、やりがいをもてるような制度を創設したらどうか。</p>	<p>担い手支援については、現在JAを中心に対策を検討しております。 【農林課】</p>	A
<p>◎大井川用水受益地の拡大</p> <p>領家地内を大井川用水の受益地に入れることは可能か。</p>	<p>大井川右岸土地改良区等の関係機関に今後も要望していきませんが、加入金・賦課金等の経費負担もあるので、地域の総意が必要になることをご承知ください。 【農地整備課】</p>	D
<p>◎現物支給や道排水路整備の継続</p> <p>農道や水路の整備及びU字溝や生コンなどの現物支給を継続して実施してもらいたい。</p>	<p>今後も予算確保に努め、事業を継続して実施していきたいと考えております。 【地域振興課】</p>	C

曾我地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎新ごみ袋の改善</p> <p>環境資源ギャラリーの稼動に伴い燃えるごみが増えた。袋も変わったが容量が小さく裂けやすいため改善していただくことはできないか。</p>	<p>新ごみ袋は、分別徹底、省資源、省コストの観点から、燃えないごみの袋と同じ半透明のポリエチレン製としました。容量については、従来の紙製のものが23リットル、今回の新しいものは2種類あり、大が30リットル、小が20リットルです。縛りやすくするためレジ袋タイプであることや、紙と違って立たないため小さく感じるのではないかと思います。また鋭利なものをそのまま入れると裂けてしまうので、紙に包み小さくするなど工夫をしていただきたいと思います。当分はこの規格で行い、要望が多いようでしたら再検討いたします。また、生ごみの減量化やプラスチック容器包装、古紙類など資源物の分別を徹底していただき、ごみの減量にご協力をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【環境保全課】</p>	D
<p>◎台風接近時の登校の周知</p> <p>台風等による警報が発令されていることを知らずに、児童が登校してしまったことがある。警報が発令されている際には同報無線を利用して周知できないか。</p>	<p>台風等の気象状況時における対応については、児童・生徒の安全を第一にして各学校ごとに定めています。特に、各中学校区単位の連携を密にし、子どもや保護者が惑うことがないように十分に説明し、各家庭への連絡の徹底を図っています。</p> <p style="text-align: right;">【交通防災課・学校教育課】</p>	E

千浜地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎少子化対策 ①企業でも、経営者による従業員への支援等が始まったが視線は定まっていない。経営者の対策支援に力を入れるべきではないか。</p>	<p>厚生労働省の外郭団体である21世紀職業財団では、育児休業代替要員確保の助成や職場託児所設置への支援などを行っているので、これら制度の周知を図ります。 【商工観光課】</p>	—
<p>②少子化対策のために女性の意見を聞く機会を設置したらどうか。</p>	<p>昨年10月市役所内に掛川市子育て支援・少子化対策本部を立ちあげました。 委員に女性職員も登用し、子育て・少子化対策について検討を進めています。 1月12日には、市長出席のもと20名の0歳児の母親の皆さんに参加をいただき、子育て支援懇談会を開催し、多くのご意見をいただきました。 また、少子化対策には、男女共同参画社会の実現が不可欠です。平成18年度には、市民の代表で組織する男女共同参画審議会を設置し、意見を聞きながら男女共同参画行動計画を策定していきます。 【企画調整課・福祉課】</p>	A
<p>③働く女性への公的支援の検討や男性への育児休暇取得促進の周知。</p>	<p>少子化は各分野で大きな影響を及ぼすため重要視されてきております。 市では、掛川市次世代育成支援行動計画に基づく学童保育やファミリーサポート・センターなど充実を図り、働く女性の子育てにかかる経済的負担の軽減に努めてまいります。 【福祉課・商工観光課】</p>	D
<p>④少子化による産業への影響対策を国をこぞって検討すべきではないか。</p>	<p>少子化は各分野で大きな影響を及ぼすため重要視されており、少子化抑制策が今後重点的に進められるものと考えています。 【商工観光課】</p>	D

千浜地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎高齢化対策</p> <p>①旧1市2町の社会福祉法人の債務負担行為による返済を新掛川市がオーナーとなり、経済的に足腰を強くして、聖隷事業団や天竜厚生会に追いつくような事業を推進したらどうか。</p> <p>②小笠老人ホームを社会福祉法人に経営移譲したらどうか。</p> <p>③3法人の統括機関（仮称）掛川市福祉事業会を東高跡地に設置し、市の福祉事務局の総本山的な役割をさせたらどうか。</p>	<p>旧掛川市内の社会福祉法人は老人ホームを持っているため形態が少し異なりますが、旧大東町、旧大須賀町の法人は、特別養護老人ホーム、保育園の経営が概ね同様の形態で行われているため、第一段階として旧大東町と旧大須賀町の法人の統合を進め、第二段階として旧掛川市内の法人の統合を行う順序が考えられます。法人の統合には法人相互で待遇その他の面で違いがあることから相互調整を必要としますが、市としては現在支出している起債償還金以外の負担が発生することはないので財政面での影響はないと考えられます。</p> <p style="text-align: right;">【高齢者支援課】</p> <p>小笠老人ホームは、掛川市、菊川市、御前崎市の3市による一部事務組合により運営されており、平成2年に現在地に新築移転しました。新築移転に伴い発生した建設事業費の償還は、平成21年に完了します。このため、その間に法人への委託等について一部事務組合でよく協議していく必要があります。</p> <p style="text-align: right;">【高齢者支援課】</p> <p>庁内に東高跡地施設利用検討委員会を設置し、総合的な利用について現在検討しています。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課・福祉課】</p>	<p>D</p> <p>D</p> <p>A</p>
<p>◎海岸保全について</p> <p>①海岸侵食は近年急速に進んでいるが、防止策はないのか。</p> <p>②150号線沿線の防風林は壊滅状態であるが、近年は屋敷内の松も被害を被っているため、助成制度はないか。</p>	<p>海岸侵食につきましては、遠州灘沿岸に係る御前崎市から湖西市までの6市1町による「遠州灘沿岸保全対策促進既成同盟会」が組織され、国・県への積極的な対策事業の実施等の要望活動等を行います。</p> <p>また、市としては掛川市海岸防災林保護組合による飛砂防止としての堆砂工の設置を施行いたします。</p> <p>防災林の松食い虫防除対策としては、引き続き関係者のご理解ご協力により、薬剤の空中散布と被害木の伐倒駆除を実施いたします。</p> <p style="text-align: right;">【農林課】</p> <p>屋敷の松枯れ対策は、これまでどおり自費での対応でお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【農林課】</p>	<p>C</p> <p>E</p>

千浜地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎大井川用水の多目的利用問題</p> <p>この地域は、大井川用水があったことから農・工それぞれが発展した。19年3月までは工場でも用水が利用できるようであるが、それ以後はどうなるのか。現状と今後の方策を教えてください。</p>	<p>協議を重ねた結果、農業用水の水路を使用して、工業用水長島ダムの水を多めに流していただき、合法的に工業用水として使えることになりました。企業団を設置して掛川市も負担金を出して運営していきます。水路の使用料は農業用水用に払っていただく仕組みです。</p> <p style="text-align: right;">【農地整備課・商工観光課】</p>	—
<p>◎大東保健センターの活用</p> <p>合併に伴い、旧掛川市の施設にいろんなものが集約されてしまった。今後の保健センター活用方法はどのように考えているのか。</p>	<p>合併の協議において、基幹を徳育保健センター、サブセンターとして大東と大須賀の保健センターに決定しました。健診があるときは効率よく保健師を配置していきます。常時、センターには保健師は配置されておりませんが、支所には常勤しております。現状運用でのご理解とご協力をお願いします。</p> <p>なお、大東保健センターでは1階で10月から障害児学童保育を開設しております。</p> <p style="text-align: right;">【保健予防課】</p>	—
<p>◎新図書館開館後の運営</p> <p>新図書館開館後、千浜改善センターと北公民館の両図書室はどのように運用していくのか。</p>	<p>図書については、新図書館に集約します。新図書館をみなさんで十分にご活用いただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【教育文化課】</p>	—

睦浜・大坂地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎一級・二級河川の堤防草刈</p> <p>①大坂地区には、2つの1級河川があり、地区で年8回程度実施している。例年6月の全町環境美化運動に合わせて全区民参加で実施したが本年度それは実施されなかった。大東町時代には常設委員に手当が支給されていたため、その方にもお願いできたが、市になったら手当も廃止され、お願いもままならなくなった。県の1級河川であれば、市や県で対応すべきではないか。</p> <p>②組長に協力をお願いすることがあるが、近年では農家が減少しているため草刈機を所有しない者や、高齢化により体力的に厳しい者が増えてきている。このような状況下を市ではどうとらえているか。</p>	<p>河川を管理する国や県が実施することが本来の姿かもしれませんが、すべてを実施するのは大変厳しい現状であります。</p> <p>危険な場所以外については、自分たちの郷土は自分たちで守るという郷土愛、河川愛護の精神で今後も草刈りをお願いいたします。 【道路河川課】</p> <p>かつては全戸で行った奉仕作業も、今では一部の役員さんに負担がかかっている地区もあると伺っています。一部の役員さんではなく地域の皆さんで、取り組んでくださることが望ましいので、地域内でもよく話し合ってもらえるようお願いいたします。 【道路河川課】</p>	D
<p>◎区役員等の報酬について</p> <p>合併後、区役員等の手当は年々減らされていくようである。来年度は報酬をどの程度いただけるのか。</p>	<p>区役員等の報酬は、各区の規定に基づき区として支払っていただくのが本体の形です。その財源の一部となる市の「行政事務取扱交付金」は平成17年度、1世帯あたり1,500円を交付しました。平成18年度は増額の検討をしております。また、合併に伴う各区への交付金の激減緩和として大東、大須賀区域に交付している「地区区長会活動特別交付金」は、平成18年度は1世帯あたり2,000円を上限に交付される予定です。 【地域振興課】</p>	-
<p>◎下小笠川旧河川について</p> <p>①3月に捷水路が開通したが、旧河川が国から市へ移管される時期と移管後の市の構想を聞きたい。市で構想がなければ地元の意見を聴取してほしい。</p> <p>②旧河川は水が流れていないため、草が繁茂している。今までは国交省の関係で刈ってくれたが、秋になると草が枯れ火災の心配がある。地域でも目に余るため早急に対策を考えてほしい。</p>	<p>現在、公図の整理をしている段階であります。具体的な計画案も決定しておりませんので、今後の整備計画について、地元のみなさまの意見を聞かせていただきたいと思っております。 【道路河川課】</p> <p>国では、安全確保を前提にしております。いずれにしても対応を地元のみなさんと一緒に考えていきたいと思っております。</p> <p>また、国土交通省にも対応していただくよう要望します。 【道路河川課】</p>	D

睦浜・大坂地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎海岸の侵食対策</p> <p>このままの海岸では、侵食は進む一方である。対策をどう考えているのか。</p>	<p>現在、国では佐久間ダムの堆積土砂の浚渫を検討しております。しかし、土砂を置く場所や環境条例との絡みがあり、対策にも深刻な問題となっております。また、関係地域の6市1町による遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会で、できるだけ早く対策が講じられるよう国、県に強く要望活動をしていきます。 【道路河川課】</p>	D
<p>◎健康まつりについて</p> <p>10月16日に徳育保健センターで開催された健康まつりは、歯の診断やミニドックなど、旧大東町では考えられなかったほどのすばらしい企画であったにも関わらず、大東・大須賀の人は誰も来ていなかった。周知方法や交通手段、南部地区での開催などを検討してほしい。</p>	<p>大東・大須賀区域の保健委員・健康づくり食生活推進員の皆さんは、スタッフとして多数参加していただきました。</p> <p>誰もが参加しやすくなるよう、会場への来場方法や開催の周知方法について再検討していきます。 【保健予防課】</p>	D
<p>◎水道管破裂事故対応</p> <p>給水車が配備されたが、支所に1箇所配備されたのみであり、遠くの方が不便していた。勤めに出ている人は、買い物先で水道が濁っているとの話を聞き、慌てて惣菜等を買って帰った人もいた。周知方法や給水車の配備箇所についての対応を再検討願いたい。</p>	<p>下水道工事に伴う水道破損事故につきましては、大変ご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。事故の周知は、同報無線で5回、広報車(2台)で行いました。しかし、ご指摘のように情報が全てに行きわたらなかった事は反省するとともに今後の検討課題としていきます。また、給水については、借り上げを含め給水車3台を出動させるなど懸命に行いました。濁り水が広範囲に広がり、影響戸数が多いため、支所を拠点として給水を行いました。今後、この事故を教訓とし、工事業者に対して安全な工事施工を徹底させるとともに、ご指摘の点については、再度検討し、地震等災害にも適切に対応できるように取り組んでいきます。 【水道総務課】</p>	D
<p>◎地区要望について</p> <p>回答内容に理解しかねるものがあつた。部課長の決裁がされての回答か。決裁済なら決裁印を押したものを返すべきではないか。</p>	<p>各担当課にて要望箇所の現地確認を行い、緊急性・公共性・他の事業計画との整合性などを調査後、決裁を受け取りまとめたものを地域振興課長名にて地区区長会長宛に回答通知を配布させていただいております。 【地域振興課】</p>	-

睦浜・大坂地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎市民総代会の名称について</p> <p>総代とは区三役を定義付けているが、この集会は市民を対象としているので、やわらかいネーミングに変更してほしい。</p>	<p>市民総代会における「総代」とは、区三役をはじめ、地区の各組織の役職者及び市政や地域のことを考えて出席してくれる市民の方々を総称して呼んでいるものであり、代表者のみを指しているわけではありません。</p> <p>また、地区住民の誰の参加を拒むものでもありません。</p> <p>今年度は、大東・大須賀区域では初めての開催ということもあり、制度の説明が足りなかったこともあるかもしれませんが、今後は、市民のみなさんに誤解が生じないように周知してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【地域振興課】</p>	D
<p>◎乳がん検診について</p> <p>合併前は毎年1回行ってくれたが、合併後は2年に1度となったため再検討願いたい。</p>	<p>乳がん検診は、マンモグラフィという精度の高い検診を実施するようになりましたので、2年に1度となりました。今後の実施方法については、医師会とも相談し検討させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【保健予防課】</p>	D
<p>◎松くい被害の防止</p> <p>クロマツは松くいへの耐久性はあるが、根付きが悪いため、他の樹木でも対応できるようなものはないか。</p>	<p>松くい虫防除対策としては、引き続き関係者のご理解ご協力により、薬剤の空中散布と被害木の伐倒駆除を行います。また、被害林には松くい虫に強い「抵抗性クロマツ」の植栽や現場に自然植生している樹種への転換が考えられます。</p> <p style="text-align: right;">【農林課】</p>	C

土方地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎下小笠川の改修について</p> <p>①西側堤防に30cmの棒が振り回せるほどの空洞がある。下中、小笠橋、池田屋酒店付近では、4回も堤防の決壊の危険があり、一刻も早い改修をお願いしたい。</p> <p>②整備計画により河床を下げる際は、多量の降雨にも対応できるようにしてほしい。川の線形が極端に曲がっており少しの水でも溜まる形状にある。現在も土のうを積んで対応しているが、いつまで耐久できるか心配であるため早期に改修願いたい。</p> <p>③河川の浚渫工事で発生する残土は、海岸に置けば侵食の対策になるのではないか。</p>	<p>最近では国で「災害復旧」になかなか採択していただけないのが実状です。</p> <p>工事により残土処理と用地が問題になっております。平成6年から取り組み、2.1kmが完成しております。残り2.4kmの小笠橋までの整備計画策定からまずは取り組んでいきたいと思えます。地元のみなさんや菊川改修期成同盟会と連携をとりながら進めていきたいと思えます。</p> <p>【道路河川課】</p> <p>調査させていただき、根本的改修に向けた検討をしていきたいと思えます。</p> <p>【道路河川課】</p> <p>海岸は、自然公園に位置づけられているため、現状では困難です。今後方策について検討していきます。</p> <p>【道路河川課】</p>	<p>D</p> <p>D</p> <p>E</p>
<p>◎避難命令の発令について</p> <p>避難命令は、弱者を忘れがちになる。1次命令・2次命令など段階的に発令してもらえないか。また、現在の避難命令は誰がいつ発令しているのか。</p>	<p>大雨、洪水、暴風雨警報のいずれかが発令され危険な状態が予想されるとき、また、菊川、太田川又は原野谷川のいずれかに洪水注意報が発令された場合は、事前配備出動として、交通防災課、農林課、農地整備課、及び都市建設部に関係する課の一部職員が参集し被害の状況により他の職員を動員することになります。第2次配備では、係長相当職以上の職員が登庁することになっています。河川の対応は、1, 2級河川は県、普通河川は市が管理しております。県の管理河川では「基準水位」の情報が入るので、その都度指示が出る仕組みになっています。避難命令の発令は、現場からの情報を対策（警戒）本部の長（市長）が判断し発令します。</p> <p>災害弱者への対応は、出来るだけ迅速な行政対応が必要と考えますが、把握等も難しく消防団や自主防災会にも御協力をお願いします。避難情報につきましては、避難勧告、避難指示、避難命令といった順序で発令されますが、危険を感じたらただちに自主避難をお願いします。今後とも安全確保に努めてまいります。 【交通防災課】</p>	<p>—</p>

土方地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎西幹線道路取り付けと工業団地道路について</p> <p>①工業団地線は県道掛川大東大須賀線との交差点まででストップしている。鉄鋼関連企業が誘致され18年に創業予定であるが10トントラックが通行すること。天神橋や落合橋は道幅が狭く大型車両の通行は困難な状態。工業団地線を山喜製茶組合付近（県道袋井小笠線）まで北進延長し動脈的な道路を早急に整備してほしい。また、構想や計画があれば教えてほしい。</p> <p>②工業団地への通勤車両が生活道路に入ってきている。大坪台団地付近から西進し工業団地へ通じる道路が計画されていると伺っているがその計画は。</p>	<p>西幹線道は旧大東町の幹線道路に位置づけられ、入山瀬から国道150号の間7,400mを14～16mの幅員で結ぶものであります。現在西幹線の一部として農道高天神地区を整備しています。高天神1期地区1,900mは2車線で整備しており平成17年度で完成します。また、2期地区の840mは平成17年度から平成22年度までの計画で進めています。今後については、新市道路網計画の中で検討してまいります。 【農地整備課・道路河川課】</p> <p>17年度に現況測量を実施する予定です。今後の事業推進については新市道路網計画の中で検討してまいります。 【道路河川課】</p>	<p>D</p> <p>C</p>
<p>◎主要地方道掛川大東線上内田地内の渋滞について</p> <p>大東から掛川駅に行く道は、高瀬から渋滞が著しく早朝・夜間なら15～16分の道のりが、通勤時間帯は30～40分、雨でも降れば45分かかる。この現実を旧掛川市ではどう感じているのか。</p>	<p>市では渋滞の状況を把握するため平成17年7月20日に交通調査を実施しました。結果は県道掛川大東線の板沢地区で朝7時から夕方7時までの12時間交通量が17,700台でした。また渋滞状況は朝7時30分頃がピークで上板沢交差点を先頭に高瀬まで約2.3kmの渋滞が見られ最後尾の車が上板沢交差点を通過する時間は17分でした。これらの結果を踏まえ現在掛川大東線バイパスの整備計画を検討しており、これを新市重点プロジェクトの南北幹線道路の整備に位置づけ進めていく考えであります。また岩井寺の安部川開発東から北へ掛川大東線に平行でエコパ道路の結縁寺ICまでを結ぶ農道掛川高瀬線の整備を現在静岡県が進めています。市では県に平成20年3月の完成を目指し整備促進するよう要望しているところ です。 【農地整備課・道路河川課】</p>	<p>—</p>
<p>◎B級品野菜等を利用した商品開発</p> <p>大浜地区では、ニンジンを多く栽培しておりキズものも出るので、これらをジュースにし、大河ドラマにちなんだネーミングで販売したらどうか。</p>	<p>消費者からは安全安心という声がありますので、今後十分に検討させていただきます。 【農林課】</p>	<p>D</p>

佐東地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎南北幹線道路の整備について</p> <p>①数十年前からの要望であり、合併でますますその声が高まったものと思う。詳しい説明を期待したい。</p> <p>②子隣から板沢間のバイパス計画をさらに南延できないか。</p>	<p>南北幹線道路の整備については新市の重点プロジェクトとし最重点課題に掲げられています。南北道は海・山連携がテーマですが、当面は旧大東・大須賀町と旧掛川市を結ぶ市街地間連携ルートについて10カ年整備計画をまとめ整備を促進する考えです。ご当地に関わる大東ルートに関しては中地区の県道相良大須賀線、国浜地区の市道海洋公園線について県と市が既に事業を開始しています。それ以外については現在整備計画の策定を進めているところですが、特に上内田・高瀬地区の県道掛川大東線についてはバイパス道路を含め計画を進めており、今後は関係地区の皆さんにもご協力をいただき具体化してまいります。 【道路河川課】</p> <p>整備計画の策定の中で検討します。 【道路河川課】</p>	<p>A</p> <p>C</p>
<p>◎県道中方千浜線への歩道設置</p> <p>岩滑地内の佐東川堤防を走る県道に歩道を設置してほしい。</p>	<p>用地が確保されており緊急度が高い箇所であれば、県で整備を行ってくれます。今後も県へは要望していきますので地域のみなさまのご協力をお願いします。 【道路河川課】</p>	<p>D</p>
<p>◎浜岡原発の安全性と恩恵</p> <p>①地震の際に、20mの津波がきても大丈夫なのか。</p> <p>②原発からの距離からすれば危険度は御前崎市と同じ。しかし、御前崎市には恩恵あるが、掛川市にはない。市長がもっと要求すべきではないか。</p>	<p>浜岡原発の津波評価は、過去の地震による津波のうち、敷地周辺に最も大きな影響を及ぼしたと考えられる安政の東海地震による津波について、文献調査や数値シミュレーションの結果から津波の高さは、浜岡水域でも6m程度と予想されています。また、安全上特に重要な施設を収容している原子炉建屋の出入り口には防水扉も設置されているため、津波に対して原子炉施設安全性は十分に確保されていると考えております。 【交通防災課】</p> <p>原発の交付金もかつて大東区域においては多額な交付を受けられましたが、現在ではわずかな金額です。国の制度に基づいての交付金であり、難しい問題ではありますが、今後検討していきます。 【企画調整課】</p>	<p>A</p> <p>D</p>

佐東地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>③世界は原子力から撤退している。原子力に変わるものとして、遠州灘の風力を使ってはどうか。将来の子どもたちの安全が大切であると思う。</p>	<p>原発災害の恐ろしさは承知のことと思いますが、日本人の暮らしには原発以外では賄えない現状もあります。次の技術を開発して原発をやめていく必要も感じています。今後、市の呼びかけでプルサーマルの勉強会も開催していきます。開催の際にはご参加いただきますようお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p>	—
<p>◎下水道の整備について 新市になって、整備時期の先送りが懸念される。この地域はいつ頃、どのような方法で整備されるのか。</p>	<p>旧大東町の計画では、農業集落排水事業により土方、中、佐東地区の順に整備するという事になっています。時間の経過と共に社会経済情勢も変化し、財政悪化などの理由から、建設中の事業の遅延や新規事業採択の凍結、上乘せ補助率の見直しなども検討されている状況です。中地区も着工していない現時点では、いつ頃からどのような方法で整備していくのか、お示しできない状況です。</p> <p style="text-align: right;">【下水整備課】</p>	D
<p>◎小貫川の改修 ①「県のお金がなければできない」ということではなく、財産区から毎年560万円、ゴルフ場利用税3,000数百万の収入がある。ゴルフ場による一旦水の懸念は当然で出てくるため、この収入の使途を改修費用に考えてみてはどうか。 ②土井酒造の石垣については、地権者の声（酒の品質保持のため工事反対）をきいていただいて、石垣とは反対側の改修で対応できないか。 ③小貫川3号橋付近で断面が狭くなっている。1億円あれば解消できると思うため早期改修を。</p>	<p>ゴルフ利用税の使途も考えていきますが、提示金額でできるのかはわかりません。</p> <p style="text-align: right;">【市長】</p> <p>関係地権者の意見を参考に石垣に影響の無い方法で整備を実施してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p> <p>小貫川改修については土井酒造付近で改修が止まっていますが、下流より順次整備を進める計画でいます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D B B
<p>◎自治区組織について いくつかのグループが、意気投合して進めるのが自治会組織であると思う。高瀬・小貫・中方・岩滑の4区は、区の運営が全く違う。小区を自治区として認めていただきたい。</p>	<p>自治区の合併や分離は、区の実情に合わせて行っていただくことが本来の形です。しかし、分離をすることにより、今までの文化や風習が損なわれてしまうこともあります。区民のみなさんの意見を十分に尊重し決定されるほうがよろしいかと思ます。</p> <p style="text-align: right;">【地域振興課】</p>	—

佐東地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎大井川用水設備の整備 用水のパイプライン化を進めていた だきたい。</p>	<p>大井川右岸土地改良区への要望はしていきますが、地元の役員さんを通じて問題提起して下さるようお願い します。 【農地整備課】</p>	D
<p>◎バス路線について 大須賀から佐東地内を通り掛川駅ま での路線バスが開業されるようだが沿 線住民の声も聞いてほしい。大須賀か ら790円の料金もどうかと思う。市街 地循環バス（100円バス）と比較しな がら検討してほしい。</p>	<p>バス会社や陸運支局との関連もあるため、細部まで市 民の声を伺うことは難しいものであります。 袋井経由よりも便利になることは間違いありません。 しかし、これ以上100円バスを増やすことは事実上無理 です。100円バスは民間業者を圧迫させることもありま すので、民間や第3セクでのバス路線を充実させていき たいと考えております。 【市長】</p>	B
<p>◎学校2学期制について メリットとデメリットを教えてほし い。</p>	<p>2学期制のメリットは「学びの連続性」「特色ある学 校づくり」です。千浜小学校を含めて市内の小・中学校 13校で試行しています。また、デメリットについては、 保護者の不安を取り除くように努力してきました。例え ば、夏休み前に面談を実施して、子どもの今をきめ細や かに伝えるように努めました。その他の課題につきまし ても、各学校で対策を練って、よりよい2学期制にしよ うと創意工夫をしています。詳しくは、3月1日号の『広 報かけがわ』をご覧ください。 【学校教育課】</p>	—

中地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎下水道整備の方向性について</p> <p>①旧大東町時代、下水道事業は平成15年工事開始、17年供用開始との動きがあった。最近では19年以降といわれているが、それも定かではないと聞き不安が生じている。</p> <p>②下水道工事が進んでも衛生車は廃止されない。脇屋などの汲み取りトイレも下水に接続しなければいけない理由は。</p>	<p>旧大東町の計画では、農業集落排水事業により、土方、中、佐東地区の順に整備するということになっています。時間の経過と共に社会経済情勢も変化し、国・県の補助金が当初予定額を下回り、建設中の事業も遅れています。静岡県では、新規事業採択の凍結や上乘せ補助率の見直しも検討され、現段階では中地区の新規（事業）採択も不透明な状況です。</p> <p>合併協議会では、「旧町の計画を尊重し、新市の事業計画策定すること。」が確認されています。したがって、それぞれの地域に最も適した、生活排水処理施設の整備計画を、平成19年度までに策定していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【下水道整備課】</p> <p>公共下水道及び農業集落排水施設は、汚れた水をきれいに処理して川へ戻すだけでなく、ハエや悪臭の発生を防ぐなど、多くの役割があります。すべてのお宅がこれらの施設に接続しないと、事業の成果が表れませんので、ご理解とご協力をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【下水道整備課】</p>	<p>D</p> <p>—</p>
<p>◎南北幹線道路の整備</p> <p>①掛川方面に行く人の中には苦勞している人が多い。事業の進展を期待したい。</p> <p>②中地内をバイパス化するのではなく中小の交差点を経由するなど、既存道路を改良して活用する方法はないのか。曲がりくねったバイパスでは、将来、住宅地の中に埋没すると思われる。</p>	<p>南北幹線道路の整備については新市の重点プロジェクトとし最重点課題に掲げられています。南北道は海山連携がテーマですが、当面は旧大東・大須賀と掛川を結ぶ市街地間連携ルートについて10カ年計画をまとめ整備を促進する考えです。ご当地に関わる大東ルートに関しては中地区の主要地方道相良大須賀線、国浜地区の市道海洋公園線について県と市が既に事業を開始しています。それ以外については、現在整備計画の策定を進めているところですが、特に上内田・高瀬地区の県道掛川大東線についてはバイパス道路を含め計画を進めており、今後は関係地区の皆さんにもご協力をいただき具体化してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p> <p>中交差点は懸案路線として取り組んでいます。今後意見を考慮して検討してまいります。しかし、既存道路の拡幅は、住宅移転に莫大な経費が掛かるなどの課題があります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	<p>A</p> <p>D</p>

中地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>③バイパス計画中のうち、促進住宅付近のカーブ対策は。</p> <p>④掛川へ通勤するには、毎日1時間かけて通勤している。現道を拡幅しても渋滞が延長するのみ。計画をさらに2本追加（バイパス化）して、エコパ道路に通じる線形にしたらどうか。</p>	<p>道路の線形は、道路構造令に合致した設計を静岡県が進めています。安全なカーブであると考えています。 【道路河川課】</p> <p>①に同じ</p>	A
<p>◎地区要望について 地区要望の採択基準や地元負担金などについて教えてもらいたい。</p>	<p>各地区から要望書を提出いただいております地域環境整備調整事業（道路、河川、用排水路等の小規模修繕）は、要望箇所の現地確認を行い、緊急性・公共性・他の事業計画との整合性などを勘案し、予算の範囲内で事業採択をしております。また、地区要望は地元負担金なしで対応しています（但し、農業用施設の工事については、負担金が伴う場合があります）。 【地域振興課】</p>	—
<p>◎中交差点の整備 バイパスが完成すれば、市が現道を管理していくことになると思うが、県道のうちに改良したらどうか。</p>	<p>今後も県へは要望していきます。 【道路河川課】</p>	D
<p>◎合併によるサービス低下への懸念 最近、掛川方式と言われるがその方式がよければいいが、長いものにはまかれろという感じにとらえられる。旧町時代の方法がよければ、従来の手法を採用し合併効果を良い面に向けてほしい。</p>	<p>行政サービスの手法の選択は、行政目標の実現に向けた施策の評価の中で財政計画と併せ決めていくものだと考えます。 今後は従来の掛川、大東、大須賀の手法にとどまらず効果の高い事業手法を選択し、行政サービスの充実を目指します。 【企画調整課】</p>	D
<p>◎自治区組織の合併 自治区組織を合併させ大きくさせることはできないか。</p>	<p>自治区組織の合併は、地元の意見を尊重しながら慎重に対応してまいります。 【地域振興課】</p>	D

大須賀北部・西部・中部・南部地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎南北幹線道路整備 ①この先何年間で整備されるのか。</p> <p>②農道掛川高瀬地区3期の整備状況は。</p>	<p>南北幹線道路の整備については新市の重点プロジェクトとし最重点課題に掲げられています。南北道は海山連携がテーマですが、当面は旧大東・大須賀と掛川を結ぶ市街地間連携ルートについて10カ年計画をまとめ整備を促進する考えです。ご当地に関わる大須賀ルートに関しては西大谷地区の県道大須賀掛川停車場線について西大谷トンネル西から西大谷池南までの3,250mの整備を県が平成20年度完成目標で既に進めています。それ以外については現在整備計画の策定を進めているところですが、特に西大谷トンネルから入山瀬の間の県道袋井小笠線についてはバイパス道路を含め計画を進めており、今後は関係地区の皆さんにもご協力をいただき具体化してまいります。 【道路河川課】</p> <p>平成19年度（平成20年3月）の開通を目指して事業を進めています。 【農地整備課】</p>	<p>A</p> <p>B</p>
<p>◎北方道路の整備 清ヶ谷からスズキ自動車間を結ぶ北方道路の舗装が傷み、線が薄く、路肩には草が繁茂しているため対策を。</p>	<p>現地を見てできることから実施します。 【道路河川課】</p>	<p>A</p>
<p>◎弁財天の整備 弁財天は、非常時の港や釣り公園になる。昔の処分場がなかった頃のゴミが埋められており、海岸浸食の心配がある。リゾート地構想など今後の方策を伺いたい。</p>	<p>静岡県の管理河川であり、また静岡県立自然公園にも指定されている区域でありますので土地利用には制約があります。今後静岡県と改修要望と併せ研究してまいります。 【道路河川課】</p>	<p>D</p>
<p>◎坂下ノ谷の整備計画 宅地造成予定地が現在は、ロープは切れたままで草は繁茂おまけにゴミが投棄されている状態。公園であるならば管理をしっかりしてほしい。今後の計画や管理の方法は。</p>	<p>ロープは補修しましたが、公園管理については、面積も広く費用も掛かることから年1回の草刈りのみ実施しております。また、今後の整備計画は現在のところありませんのでご理解をお願いします。 【都市計画課】</p>	<p>D</p>

大須賀北部・西部・中部・南部地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎旧大須賀町内の山間部開発</p> <p>旧大須賀町は、山に挟まれ谷状になっているところが多い。山を削り、その土砂で谷を埋めて宅地造成や工業団地造成をしたらどうか。</p>	<p>企業誘致により雇用の確保・財政基盤の強化等が図られています。現在、平成22年完成を目指して市東部地区の工業団地造成計画を進めています。また、大須賀区域には農工団地指定地域があり、そこへの企業誘致も進めています。今後の経済状況、企業の設備投資等の動向及び地元の意向を踏まえながら進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【商工観光課】</p>	D
<p>◎農業後継者対策</p> <p>農業を営む者が生きがいを持てるよう、耕作者の意見交換の場をもつなどして、後継者対策を行ってほしい。</p>	<p>旧大東町で行っていた「農業活性化やる気塾」を設置して、18年度から全市的に取り組んでいきます。</p> <p style="text-align: right;">【農林課】</p>	B
<p>◎通学路整備</p> <p>モリック付近の通学路は狭くて危険であるため安全確保をお願いしたい。</p>	<p>用地が確保できれば歩道を設置できるよう検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D
<p>◎江戸天下祭りに係る助成</p> <p>江戸天下祭りに横須賀から2台が参加した。地域住民からは好印象であり、今後もこうした機会には市の助成をお願いしながら伝統継承して盛り上げていきたい。</p>	<p>江戸天下祭りを通して、新市の観光・文化・歴史を全国発信することは重要なことでもあります。しかし、江戸天下祭りの主催者は、東京都千代田区であり、主催者からの支援もあるため、それらを考慮しながら進める必要があります。</p> <p style="text-align: right;">【商工観光課】</p>	D

大須賀東部地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎南北幹線道路整備</p> <p>①新市としての最重点事業である南北幹線道路の基本計画や完成時期について具体的に説明してほしい。</p> <p>②農道掛川高瀬線を4車線にすれば、上内田付近をバイパス化しなくてもよいのではないか。</p> <p>③西大谷の道路を拡幅した場合、道路が良くなるため交通量が増える。結局上内田で渋滞が発生し解消にはならないのではないか。</p> <p>④西大谷トンネル付近から北へ約4kmのトンネルを掘ればほぼ直線で掛川市街へいくことができる。トンネルの構想はできないか。</p>	<p>南北幹線道路の整備については新市の重点プロジェクトとし最重点課題の掲げられています。南北道は海山連携がテーマですが、当面は旧大東・大須賀と掛川を結ぶ市街地間連携ルートについて10カ年整備計画をまとめ整備を促進する考えです。この整備計画については17年度中を目標に整備内容やスケジュール・経費等をまとめていく予定です。 【道路河川課】</p> <p>農道は、事業の規格が決まっているため、現在の事業内容を変更することはできません。差しあたってこの道路の開通を優先して事業を進めます。 【農地整備課・道路河川課】</p> <p>市街地間連携ルートのうち大須賀ルートに関しては西大谷地区の県道大須賀掛川停車場線について西大谷トンネル西から西大谷池南まで3,250mの整備を県が平成20年度完成を目指し既に進めています。それ以外については現在整備計画の策定を進めているところですが、特に西大谷トンネルから入山瀬の間の県道袋井小笠線や上内田地区の県道掛川大東線についてはバイパス道路を含め計画を詰めているところですが、これらの計画を早急に具体化し渋滞の解消を図ります。 【道路河川課】</p> <p>整備計画の策定の中で検討します。 【道路河川課】</p>	<p>A</p> <p>E</p> <p>A</p> <p>C</p>
<p>◎コーニング社について</p> <p>市としては、税収があり好印象の会社であるようだが、周辺の住民にとってみると、日当たり、騒音、狭ったい感じがするなど印象はよくない。テレビもよく映らないところもある。地元の住民が辛い思いをしている事も把握しておいてほしい。</p>	<p>企業に対して直接言いにくいことは、市を通じて話をすることもできます。電波障害につきましても、企業が調査を実施し障害除去の措置をしました。今後、発生するようなことがあればすぐに対応します。 【商工観光課】</p>	<p>—</p>

大須賀東部地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎財政の健全化</p> <p>企業ではバブル崩壊後、経営者と従業員が努力して乗り切っている。市役所も人員を削減するなどして1人の持ち分を最大限に活かし、今後の市の財政健全化に取り組んでもらいたい。</p>	<p>職員は10年間で128人を削減する方針であります。市民サービスの低下を招かないよう、NPOや民間への委託も視野に入れながら財政の健全化に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【総務課・企画調整課】</p>	D
<p>◎交通手段による高校進学先への影響</p> <p>掛川市内に県立高校が3つあるが、大須賀中学校から進学先が一番多いのは袋井高校である。旧掛川市内への交通の便の悪さが一因と思う。今後どのように解消されるのか。</p>	<p>新市建設計画の中で、「新市融合に向けた交通基盤の確保」が重点プロジェクトとなっております。大須賀発大東経由掛川行きの新規バス路線が開設されますので交通機関の拡充につながると思います。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p>	B

編集 掛川市 企画調整部 地域振興課
(掛川市区長会連合会事務局)

TEL 0537-21-1129

〒436-8650 静岡県掛川市長谷一丁目1-1

◇掛川市ホームページへも公開◇